

日本消防



□ 絵 平成25年度消防功労者表彰式 H26.3.5 (水) 於 ニッショーホール
 平成25年度全国消防団大会 (意見発表会表彰式) H26.2.17 (月) 於 ニッショーホール
 ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」好評放送中! (公財)日本消防協会

巻頭言「地域防災力の充実強化に向けて」	…………… (公財)奈良県消防協会 会長 西口 茂敏	1
日消の動き「公益財団法人」日本消防協会	…………… (公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文	3
平成26年度(公財)日本消防協会事業計画について	…………… (公財)日本消防協会	4
消防団の現況 (平成25年10月1日現在)	…………… (公財)日本消防協会	8
ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」出演者紹介	…………… (公財)日本消防協会	10
被災地に消防車両を寄贈	…………… (公財)日本消防協会	15
平成25年度消防功労者消防庁長官表彰	…………… 総務省 消防庁	16
特別表彰「まとい」を受章して「地域の安全・安心をめざして」	…………… 十和田市消防団 団長 中沢 豊美	34
東西南北 (富山県)「地域防災の中心としての消防団～おらっちゃんが、やらんにゃ誰がやるがよ～」	…………… 立山町消防団 団長 高平 公嗣	36
東西南北 (大阪府)「安心安全の都市 ^{まち} 吹田 ^{すいた} 」を目指して	…………… 吹田市消防団 団長 海原 明	38
東西南北 (新潟県)「自分たちの地域は、自分たちで守る。」	…………… 十日町市消防団 団長 富井 利明	40
シンフォニー (静岡県)「女性団員としてこどもへ伝える言葉」	…………… 静岡市消防団 清水地区本部女性部 班長 植村 菜実子	42
うちの名物団員	……………	44
消防団の広場 (山梨県)「地域の安心安全と楽しい消防団へ」	…………… 山梨市消防団 団長 山中 親次	46

編集後記

表紙写真説明

世界に誇る景観、海越しの立山連峰

富山湾上に浮かぶようにそびえる雄大な立山連峰の景観は、氷見市のシンボル。
 このような海越しに3,000m級の山々を眺めることができる場所は、世界でも能登半島国定公園の雨晴海岸(高岡市)から氷見海岸一帯にかけてしか確認されていません。
 この景観は、晴れていればいつでも見えるものではなく、年間50~60日しか見えないと言われています。その中でも最も美しく見ることができる時期は12月から2月頃のよく冷え込んだ晴れた日です。
 (富山県)

平成25年度 消防功労者表彰式

平成26年3月5日（水） 於 ニッショーホール



平成25年度全国消防団大会（意見発表会表彰式）

平成26年2月17日（月） 於 ニッショーホール



ラジオ番組
「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！
(公財) 日本消防協会



1月放送分に出演の吉幾三さん



2月放送分に出演の舞の海秀平さん



3月放送分に出演の清水ミチコさん



4月放送分に出演の石黒賢さん

「地域防災力の充実強化に向けて」

(公財)奈良県消防協会 会長 西口 茂敏



昨年は消防団120年・自治体消防65周年という、私ども消防団にとって大変意義深い一年でした。昨年11月25日には、東京ドームにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、消防団120年・自治体消防65周年記念大会が盛大に開催されました。厳粛な記念式典に続き、多彩な消防実技が演じられ、さらに第3部では士気高揚に向けて賑やかなイベントが繰り広げられました。そして最後に、これからの消防体制づくりの決意を明らかにする「消防未来宣言」が採択され、万歳三唱で感動のエンディングを迎えました。その時の感動は今も胸に刻まれています。本当にご苦勞様でした。

また、本県におきましても、この意義深い年を記念して、奈良県橿原市の県立橿原公苑において、消防庁国民保護・防災部杉田広域応援室長様並びに財団法人日本消防協会 秋本会長様はじめ、多数のご来賓の皆様をお迎えし、第14回奈良県消防大会を開催いたしました。大会では、これまでの消防行政発展の経緯を顧み、長い歴史を刻んできた伝統ある消防精神技術に敬意を表するとともに、新たな決意のもと今後とも一致団結して消防防災の中核として一層の飛躍等を行う旨決意を行ったところです。

そして、昨年4月1日からは、私ども奈

良県消防協会も、他の消防協会と同様に公益財団法人として再スタートを切らせていただきましたので、地域防災力の向上のため、今後なお一層努力をしていかなければならないと気持ちを新たにしているところです。

しかしながら、その中核を担う消防団員はというと、年々減少してきております。今から40年前、私が消防団に入団した昭和49年当時の消防団員数はというと、小規模ながら12,000人を超えておりましたが、昨年10月1日現在の本県の消防団員数は8,550人で、この40年間で約3,700人もの減少をみえています。最近では減少幅はやや小さくなってきてはいるものの、前年に比べて47人の減員となっています。

しかし、そうした中であって、地元広報誌の活用や地元自治会等への働きかけを強化するなどの手だて等が功を奏して、消防団毎では団員が増加している団もあり、大変心強く感じておりますし、特に女性消防団員にあっては増加の傾向が顕著で、今後増加が期待できる状況にあります。

幸い、昨年12月の臨時国会において、議員立法による「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が全会一致で成立し、12月13日に公布・施行されました。この法律では、消防団員の確保、処遇

の改善、装備や教育訓練の充実について、国及び地方公共団体は必要な措置を講じることが義務づけられ、消防団の充実強化を強力に推進する体制が取られたところです。そして、消防団の処遇改善と装備の拡充等に向けて、様々な施策が講じられようとしています。

私どもは、新年度を迎え、新しい法律をいかし、国、県、市町村並びに関係各方面のご支援とご協力をいただきながら、地域防災力の充実強化に向かって一層の努力をしていかなければならないと思っています。

奈良県では、本年4月1日から新しい地域防災計画がスタートします。「災害による死者をなくす・人命を守る」ことを最大の目標に、できる限り被害の減少を図ることを目指して2カ年かけて見直されたものです。

2年前の本県五條市や十津川村など県南部地域を襲った紀伊半島大水害の経験と教訓を踏まえるとともに、東日本大震災を踏まえて行われた災害対策基本法の改正、国の防災基本計画の修正、南海トラフ巨大地震に関する国の検討会の検討内容等を踏まえた大規模広域災害等へ対応する内容となっています。

また、同じく本年4月1日から県内37市町村の消防本部が一体となった奈良県広域消防組合が発足し、新体制での消防業務が開始される運びとなっております。関係各位のこれまでのご努力に対し心より敬意を表する次第です。

奈良県での広域化は、これまでの県下13消防本部のうち11消防本部が広域消防組合となるので、県下の常備消防は3消防本部

となります。

このように、私ども消防団にとって、今年もいろいろと新しい動き、変化が生じているので、このことを充分理解し踏まえながら、関係各方面との連携・協力を一層高めていかなければならないと思っています。

最後に、私は毎年1月5日から1月20日までの15日間、県下各支部の消防出初式に出かけます。出初式では必ず挨拶させていただく機会がございますので、消防団員の皆さまには、常日頃消防防災の最前線に立っての献身的な尽力に敬意と謝意を申し上げ、地域住民の安全と郷土の繁栄のため一層の精進をお願いしているところです。

そして、消防団員並びに消防職員の皆さん方の凛々しい勇姿を拝見するにつけ、大変心強く感じますし、必ずや地域防災の要として活躍いただけるものと期待と確信をするところであります。

今後とも、日本消防協会をはじめ関係者の皆様方のご支援・ご指導をよろしく願います。

そして、今年1年災害のない年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



「公益財団法人」日本消防協会

(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

平成26年4月1日から、日本消防協会は公益財団法人になりました。これまで財団法人でしたが、公益法人制度の改革により、一般財団となるのか、公益財団になるのか、多くの県協会と共通の問題がありましたが、目指していたように公益財団の認定を頂くことができました。日消の場合、このことの前段階として共済事業を継続できるかどうかの問題がありました。実は、ほかの団体を含めて殆どの関係者が知らないうちに、公益法人は共済事業を経営できないようにするという法律が成立していました。これは困ったことになったということで、もう一度法律を改正して、所管大臣の認可を得れば継続できるということにして頂きました。そこからも大臣の認可を頂くまでには、保険業法による保険事業の運営をベースにすることになりましたので、相当大変でしたが、関係の職員諸君ががんばってくれて平成25年4月1日に何とか認可を頂くことができました。

こうして、日消が共済事業を経営することが確定しましたので、これを前提として、公益財団の認定を頂けるかどうかの段取りになりました。そこでの大きなポイントは共済事業が公益性をもつと認められるかどうかでした。日消としては、日消が行っている福祉共済事業等は、単なる仲間内の助け合いにとどまるものではなく、消防団員の皆さんの活動支援、消防団員の確保、消防活動の実践につながるもの、つまり公益性をもつものということは何度か申し上げてご理解を頂くことができました。

このような経過を経て、公益財団となったのですが、単なる看板のつけ替えでなく、やはり公益財団にふさわしい活動をしなければなりません。事業そのものはこれまでも皆さんのご協力を頂いているいろいろやっていますので、これをさらに発展させなければなりません。もうひとつ、この日消の活動、さらには消防団等の活動や存在のPRにもっと力を入れていきたいと思っています。そのひとつとして、日消会館1階ロビーの消防団情報プラザをリニューアルします。ニッショーホールの利用が年間250回以上でホールへのお客さんが増えていますので、ちょっと寄って見て頂くと相当なPR効果をもつ筈です。ご上京の時はご覧下さい。

平成26年度 (公財) 日本消防協会事業計画 について

(公財) 日本消防協会

1 会 議

公益財団法人（平成26年4月1日移行予定）として新定款等に基づき次の会議を開催する。

- (1) 正・副会長会議 [平成26年5月、6月、9月、平成27年3月、その他随時]
- (2) 理事会 [平成26年5月、6月、9月、平成27年3月、その他随時]
- (3) 評議員会 [平成26年6月、平成27年3月、その他随時]
- (4) 都道府県消防協会事務局長会議 [平成27年3月、その他随時]
- (5) 福祉共済事業等運営委員会 [平成26年5月、平成27年2月、その他随時]
- (6) 地震等防災対策委員会 [随時]
- (7) 消防団員確保対策等委員会 [随時]
- (8) 全国消防操法大会運営委員会 [平成26年4月]

2 全国消防大会（優良消防団表彰等）

消防団活動の充実強化、消防団員の意欲の向上及び消防防災思想の普及徹底等を目的として、以下の事業を一体として実施する。

- (1) 優良消防団（員）等表彰
 - ① 定例表彰 [平成27年3月10日（火）]
表彰規程に基づき消防活動等に功績のあった団体及び個人を表彰する。
 - ② 特別表彰 [随時]
現場功勞のあった団体・個人及び消防業務に特別に功勞のあった者を表彰する。
- (2) 講演会等 [平成27年3月10日（火）]
消防防災に関する講演会等を定例表彰と併せて実施する。

3 消防操法大会

- (1) 全国の消防団員等の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、全国消防操法大会を実施する。[平成26年11月8日（土）]
- (2) 都道府県ごとに開催される消防操法大会に援助金を交付する。

4 消防団を中核とした地域防災力充実強化大会

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の成立を受けて、地域防災の中核である消防団の充実強化を図るとともに、消防団が重要な役割を果たしながら、地域の企業、各種団体はもとより、サラリーマン、女性、若者など国民的な総力を結集して、地域防災力の充実強化を推進するため、広く各界のご参加のもと、地域防災力の充実強化を国民運動として盛り上げる大会を開催する。（東京国際フォーラム）[平成26年8月29日（金）]（5①再掲）

5 消防団員等確保事業

消防団員の確保を目標として普及広報及び啓発活動を積極的に推進する。

- ① 消防団を中核とした地域防災力充実強化大会を開催する。[平成26年 8月29日 (金)]
- ② 女性消防団国際会議を実施する。[平成26年 9月29日 (月)] (11(2)③再掲)
- ③ 全国女性消防団員活性化ちば大会を開催する。[平成26年11月14日 (金)] (12(4)④再掲)
- ④ 新規に入団した女性消防団員に対して制服を交付する。[随時] (12(4)④再掲)
- ⑤ 新時代に対応した消防団の具体的な運営方策に関する研修を実施する。[随時] (12(4)④再掲)
- ⑥ 消防団応援の店に関する情報を更に収集し、普及拡大を図る。

6 消防団幹部等特別研修事業

(1) 消防団幹部特別研修

消防団の上級幹部団員を各都道府県より1名選抜し、指導者養成のための特別研修を実施する。[平成27年 1月13日 (火)～16日 (金)]

(2) 消防団幹部候補中央特別研修

消防団員を各都道府県より選抜し、幹部候補の育成を図るための研修を男女別に実施する。[平成27年 2月 4日 (水)～ 6日 (金)、18日 (水)～20日 (金)]

(3) 消防団員指導研修

消防団員等の教育訓練のための研修事業を次のとおり実施する。
都道府県消防協会と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施する。

7 消防団防災指導・災害活動車両の交付事業

地域住民等に対する防災指導や防災学習のほか、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる防災指導・災害活動車両を交付する。

8 少年消防クラブ活性化事業

(1) 関係機関と連携し、少年消防クラブ活動の活性化を推進する。[通年]

(2) 全国少年消防クラブ交流会への協力

消防庁主催で実施する「全国少年消防クラブ交流会」へ協力し、少年消防クラブ活動の活性化を推進する。[平成26年 8月 6日～ 8日]

9 地震等防災対策

(1) 東日本大震災後の我が国消防のさらなる充実強化を推進する。

(2) 現地調査を含め、地震等の災害対策のあり方につき調査、検討を行う。

10 消防広報

消防団に関する情報提供を積極的に行うため、広報の充実を図る。

(1) 機関誌「日本消防」を発行する。[通年]

(2) ホームページの充実を図り、日本消防協会の事業等について広報に努めるとともに、消防団員確保等全国の消防団の活動状況に係る情報を提供し、消防団相互の情報交流を積極的に推進する。[通年]

(3) 消防団活動を広報し、消防団員の確保等に資するため、消防応援団員、消防団員等の出演によるラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」(全国30局ネットによる毎週放送)を実施する。[毎週]

(4) 日本消防会館1階の消防団情報プラザを活用し、消防団に関する情報発信の充実を図る。[通年]

11 国際消防調査交流事業

(1) 日中韓消防交流事業

中国及び韓国の消防関係者との交流を深めるため、次の事業等を実施する。

- ① 日中韓消防協会会議（中国）〔平成26年7月〕
- ② 第29回中国消防事情調査〔平成26年11月下旬〕
- ③ 日中消防協会定期協議会（北京）〔平成26年11月下旬〕
- ④ 中国消防協会研修視察団の受入れ 第1期〔平成26年12月〕
第2期〔平成27年2月〕

(2) 消防国際交流事業

女性消防団国際会議を東京において開催するほか、海外消防事情調査や、CTIF（国際消防救助協会）の会議等に参加するなど、海外の消防機関との情報交流等を実施し、消防の国際化を推進する。

- ① CTIF女性消防隊員ワーキンググループ会議（フィンランド）
〔平成26年4月9日（水）～11日（金）〕
- ② CTIF総会（セルビア）
〔平成26年9月18日（木）～19日（金）〕
- ③ 女性消防団国際会議（都市センターホテル）
〔平成26年9月29日（月）〕
- ④ 海外消防事情調査（米国）
〔平成26年10月〕

(3) 消防車両等国際援助事業

開発途上国の消防力の充実強化と友好親善を促進するため、日本国内の中古消防車両を無償援助する。〔通年〕

12 消防団員等福祉共済事業

消防団員等が死亡し又は障害を受けた場合等に、その家族の生活を守るとともに、消防団員等の福祉を増進する総合的な共済事業を特定保険業として実施する。

- (1) 消防団員の福祉共済への全員加入の推進
- (2) 消防職員等の加入者増の推進
- (3) 弔慰金、遺族援護金又は入院見舞金等の共済金の支払いの迅速化
- (4) 消防団員等の福祉の増進を目的とする次の各種福祉増進事業の円滑な実施

① 健康増進等事業

消防団員等の健康増進及び公務による事故の防止に資する業務

ア. 体脂肪計の配布

イ. 消防団員等への健康指導

ウ. 「いきいき消防」の発行〔年4回〕

エ. 都道府県消防協会が行う健康器具の購入等に対する助成

② 大規模災害活動支援事業

消防団の大規模災害活動に対する支援事業

ア. 大規模な災害の発生に際し、災害活動の情報収集にあたりとともに、被災地の消防団へ災害対策支援金を交付する。

イ. 大規模な災害の発生に際し、必要に応じ非常用食料等を交付する。

③ 殉職消防団員等慰霊事業

殉職した消防団員等に対する慰霊事業

- ア. 全国の消防殉職者（消防団員・消防職員・一般協力者）の慰霊祭を日本消防会館において実施する。[平成26年9月11日（木）]
- イ. 都道府県消防協会が行う消防殉職者慰霊祭等の実施に対する助成。[随時]

④ 加入促進等事業

消防資器材の交付その他この制度への加入促進と維持発展を図るために効果的と認められる事業

- ア. 消防資機材（車両）の交付
- イ. 全国女性消防団活性化ちば大会の開催 [平成26年11月14日]
- ウ. 新規に入団した女性消防団員に対する制服等の交付
- エ. 新時代対応消防団運営普及講座
- オ. 都道府県消防協会が行う消防団員研修等事業及び加入促進事務推進事業等に対する助成

13 婦人消防隊員等福祉共済事業

婦人消防隊員等の福祉の増進を図るため、婦人消防隊員等福祉共済事業を特定保険業として円滑に推進する。[通年]

14 防火防災訓練災害補償等共済事業

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合に、その負担をてん補することを目的とした防火防災訓練災害補償等共済事業を特定保険業として円滑に推進する。[通年]

15 消防個人年金事業

- (1) 消防職団員の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした消防個人年金事業を実施する。また、この制度を多くの消防職団員に理解を深めてもらうため説明会の開催など丁寧な広報活動を行い、加入促進を図る。[通年]
- (2) 第18回消防個人年金海外視察を実施する。（モロッコ、スペイン）
[平成26年11月23日（日）～30日（日）]

16 日本消防会館の運営

日本消防会館における各種設備機械類維持管理及び各テナントや消防団情報プラザ等の適切な管理を行うとともに、会館内の執務環境の充実に努め、併せてニッショーホール及び貸会議室等の健全な運営を図る。[通年]

17 消防関係団体に対する事業協力

- (1) 公益財団法人消防育英会及び同会が設置している東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金に対し事業協力する。
- (2) 生活協同組合全日本消防人共済会に対し事業協力する。
- (3) 全国消防殉職者遺族会に対し事業協力する。

18 その他

公益財団法人への移行後においても事務事業の効率化及び、経費の削減合理化を図るとともに、多様な財源の確保に努める。

消防団の現況（平成25年10月1日現在）

※東日本大震災の影響により、平成23年の福島県内の一部の消防団については発災前の数値としている。

1 消防団数の動向

消防団の数は、市町村合併に伴う消防団の統合などにより、全国的に減少が続いていますが、減少数については年々低下する傾向にあります。

平成19年度は2,457団であったのに対し、平成20年は2,361団（前年より96団減少）と年に100団近

く減少しましたが、平成21年、2,312団（同49団減少）と減少数は半減し、その後平成22年、2,276団（同36団減少）平成23年、2,259団（同17団減少）、平成24年は2,234団（同25団減少）と増減はあるもののほぼ横這いであり、市町村合併に伴う消防団統合は落ち着いてきていると推測されます。【表1】

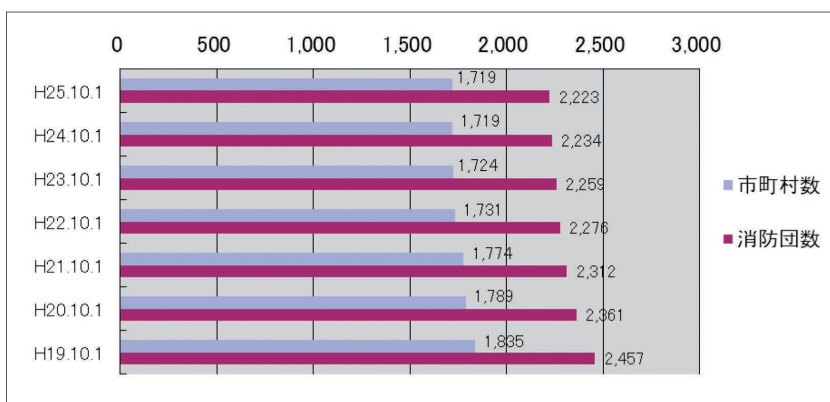


表1 市町村数及び消防団数の推移（日本消防協会調べ）

2 消防団員数の動向

消防団員数は、社会環境の変化（少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等）から減少が続いています。

平成19年から平成22年までの状況を見ると、平成19年、895,294人、平成20年、891,293人（前年より4,001人減少）、平成21年、888,662人（同2,631人減少）、平成22年、886,457人（同2,205人減少）と、減少数は徐々に低下する傾向がみられました。これは、消防団数の減少が低下してきたこと、また、積極的な入団促進の取り組みが成果を出してきたことなどが背景として考えられます。

しかし、平成23年は東日本大震災の影響により、殉職や生活基盤を失うなどの環境の変化によって東北地方の減少数が増加したことや、市町村合併に伴う消防団の再編による減少などにより、881,638人（同4,819人減少）となり、平成24年は、876,841人（同4,797人減少）とほぼ前年と同程度

の減少数で、今回、平成25年は、871,730人（同5,111人減少）と若干増えました。【表2、表3】

平成23年から平成25年の3年間は約5,000人の減少となっており、要因の一つには、被災地における東日本大震災の影響がまだまだ少ないことがあげられますが、全国的には若年層を中心とした地域の人口減少や市町村合併に伴う消防団の再編、団員の活動実態を考慮した減員があると思われる。

一方、全体として減少傾向にある中で、6県（前年7県）は増加しており、さらにその中の3県はここ数年、毎年増加している消防団もあり、その主な要因としては、団員確保のための粘り強い努力のなか、女性消防団員の新規採用や消防団OBなどの機能別消防団員の採用などがあげられます。

定員に対する充足率は、平成25年10月1日現在93.2%であり、平成24年（93.5%）と比較し0.3ポイント低下しました。【表4】

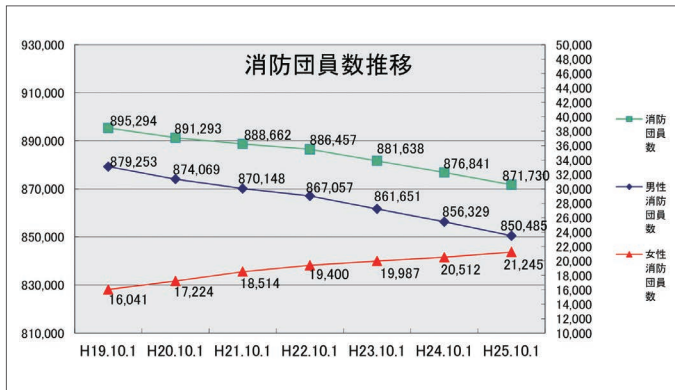


表2 消防団員数の推移（日本消防協会調べ）

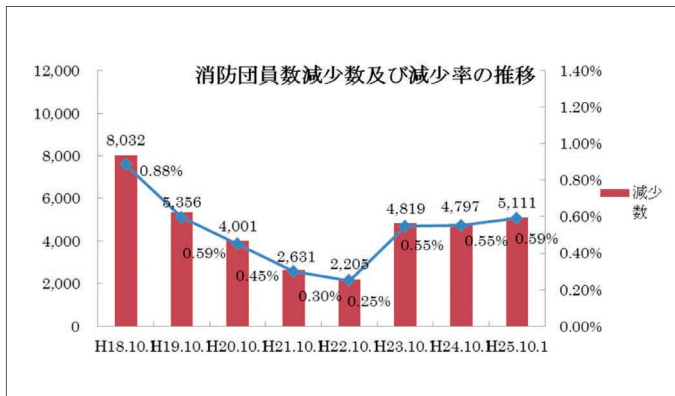


表3 消防団数減少及び減少率の推移（日本消防協会調べ 各年10月1日現在）

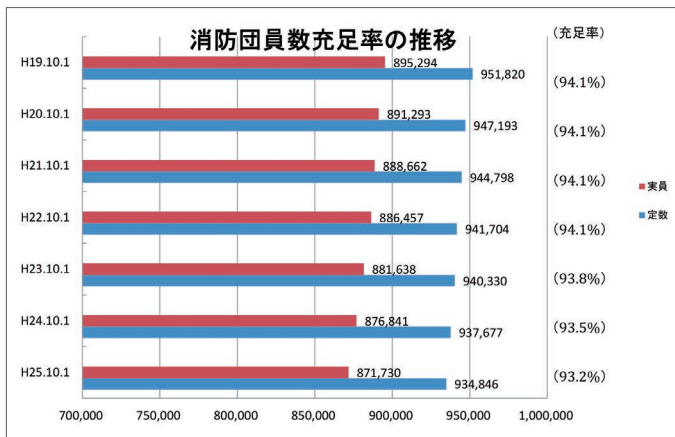


表4 消防団数充足率の推移（日本消防協会調べ 各年10月1日現在）

3 女性消防団員

平成25年は21,245人であり、依然として増加は続けているものの、増加数については平成21年（1,290人）をピークに低下傾向にありましたが、平成25年は、733人の増加で、前年（525人）より200人強の増加となりました。また、女性消防団

員を採用している消防団は、1,335団（全消防団の60.1%）で、昨年より47団増えており、これが団員数の増加の要因であると思われます。

女性消防団員は、地域の高齢者世帯への防火訪問や応急手当の講習、防火啓発活動などきめ細やかな活動で活躍しています。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財) 日本消防協会



平成26年1月放送分に
出演の消防応援団
吉幾三さん

1月11日又は1月12日放送



青森県つがる市消防団
部長 田村 修二さん

このたび、番組の出演依頼を受け、地元青森県出身の吉幾三さんと会話ができとても感動しました。出演のため、当消防団の自慢の「玉落競技大会」や当地の歴史を調べたり、消防団の現状など色々勉強になりました。今後も市民の安全・安心のため、また、つがる市消防団を自慢できるよう微力ではありますが頑張ります。

1月18日又は1月19日放送



山梨県山梨市消防団
喇叭隊隊長 山本 英記さん

吉さんと山本アナのおかげで、緊張せずに話す事が出来ました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。これからも「まちを守る消防団員」として、また「カッコイイ喇叭隊」を目指して頑張ります。

1月25日又は1月26日放送



京都府宇治市消防団
副団長 太田 勝啓さん

最近ピンポイント的に起こりうる自然災害備え、改めて消防団の必要性が見直されいる事を痛感致しました。
これからも消防団員一丸となり、安全・心まち作を目指していきます。

平成26年2月放送分に
出演の消防応援団
舞の海秀平さん



2月1日又は2月2日放送

東京都本所消防団
副分団長 林 眞一郎さん

「ラジオ番組で本所消防団のことを紹介できて良かったと思います。
これをきっかけに消防団に入団してくださる方が少しでも増えれば幸いです。」

2月8日又は2月9日放送



北海道標茶消防団
副団長 鈴木 勝己さん

この度はラジオ番組で舞の海さんとがっぶり四つで会話でき感激しました。
今後は標茶消防団の一員として郷土愛の精神と伝統を継承してまいります。

2月15日又は2月16日放送



鹿児島県湧水町消防団
分団長 藤垣 幸徳さん

今回、ラジオに出演させていただき、ありがとうございました。
消防団は、地域に密着した、無くてはならないものです。
地域の皆様と焼酎を飲みながら交流を深め、地域と連携・協力し合える体制をつくり、これからも消防団活動に務めて参ります。

2月22日又は2月23日放送



宮城県大和町消防団
部長 蜂谷 澄江さん

「おはよう!ニッポン全国消防団」へのラジオ出演、女性操法日本一、東京ドームでの「未来宣言」、私にとってすべてが宝物。消防団万歳!これからも元気で笑顔で頑張ります。



平成26年3月放送分に
出演の消防応援団
清水ミチコさん

3月1日又は3月2日放送



東京都大島町消防団
分団長
植松 豊さん

電話での会話で、正確にお伝えできたか不安でしたが、なんとか無事に終了しました。
今回の災害に際しては、全国の消防団の方々よりご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

3月8日又は3月9日放送



岩手県宮古市消防団
班長
高田 由美さん

優しいお二人と、とても素敵な時間を過ごさせて頂きました。
震災時を思い出し、改めて気持ちを引き締めて頑張ろうと思いました。
そして駆けつけて下さった多くの方々に心から感謝しています。

3月15日又は3月16日放送



福島県
須賀川市消防団
団長
佐藤 茂さん

福島県中通り地域において、貯水量150万トンの貯水池堤防が、東日本大震災の大きな揺れにより決壊し尊い人命が失われたことをお知らせすることができました。

3月22日又は3月23日放送



岐阜県高山市消防団
団長
藤本 豊彦さん

清水さんありがとうございました。お伝えたいことはまだまだありますが、高山市の消防について、皆様に少しでもご理解いただけたら幸いです。

3月29日又は30日放送



宮崎県
日南市消防団
班長
山口 佐智子さん

全国大会での寸劇がきっかけとなり沢山のひとと出会い、ラジオ出演に至る事が出来本当に幸せです。緊張しましたが楽しかったです。微力ながら地域の力になりたいと思います。

平成26年4月放送分に
出演の消防応援団
石黒賢さん



4月5日又は4月6日放送



宮城県石巻市消防団
副団長 遠藤 勝彦さん

今回、初めてのラジオ出演ということで大変緊張しましたが、貴重な体験をさせて頂き、感謝いたします。

東日本大震災から3年が経ちましたが、美しい故郷の復興にはまだまだ時間がかかります。

それでも地域防災の要として、消防団活動を通じ、一步一步前進していきたいと思っております。

4月12日又は4月13日放送



埼玉県坂戸市消防団
団員 菅原 龍雄さん (写真左)

消防団員として、このような機会を与えて頂き、更に石黒さんとの対談が良き記念になりました。今後も地域の為に頑張りたいと思っております。

埼玉県坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部
主査 木村 亜朗さん (写真右)

この度は、ありがとうございました。今後も、困難な事象に対応すべく、千里の道も一歩からとの思いで訓練を重ね、住民の安全安心を目指し頑張っていきます。

4月19日又は4月20日放送



大分県消防協会 会長
豊後大野市消防団 団長 近藤 光文さん

この度は、番組に出演させていただき有難うございました。

消防団に対する情熱をうまく伝えられなかったかもしれませんが、これからも、強い郷土愛を持って地域防災に取り組んでいきたいと思っております。

4月26日又は4月27日放送



静岡県御殿場市消防団
団長 勝亦 修治さん

初めてのラジオインタビューということで緊張しましたが、和やかな雰囲気ですり込んでいただきありがとうございました。

これからも地域の安全・安心のために活動してまいります。

おはよう！ニッポン全国消防団
放送局・放送時間

放送局	放送曜日	放送時間	放送局	放送曜日	放送時間
(株)ニッポン放送	日	6:15~6:25	(株)和歌山放送	土	6:30~6:40
(株)STVラジオ	日	5:50~6:00	(株)山陰放送	日	8:15~8:25
青森放送(株)	日	7:20~7:30	(株)中国放送	日	5:30~5:40
(株)IBC岩手放送	日	6:15~6:25	山口放送(株)	土	6:45~6:55
東北放送(株)	土	5:00~5:10	四国放送(株)	土	6:40~6:50
(株)秋田放送	日	6:15~6:25	西日本放送(株)	土	7:35~7:45
山形放送(株)	日	6:20~6:30	南海放送(株)	日	8:50~9:00
(株)ラジオ福島	土	5:40~5:50	(株)高知放送	日	6:40~6:50
(株)新潟放送	日	7:40~7:50	九州朝日放送(株)	土	6:15~6:25
信越放送(株)	日	6:50~7:00	長崎放送(株)	土	7:25~7:35
北日本放送(株)	日	6:10~6:20	(株)熊本放送	土	5:30~5:40
北陸放送(株)	日	7:40~7:50	(株)大分放送	日	6:45~6:55
福井放送(株)	日	6:10~6:20	(株)宮崎放送	日	6:20~6:30
東海ラジオ放送(株)	日	6:00~6:10	(株)南日本放送	日	7:20~7:30
大阪放送(株)	土	6:45~6:55	(株)ラジオ沖縄	日	6:35~6:45

被災地に消防車両を寄贈

(公財) 日本消防協会

(株)パトライトより、東日本大震災で被害が甚大であった消防機関に対し消防車両の寄贈の申し出があり、日本消防協会が橋渡し役となり、消防車両が寄贈されました。

寄贈を受けた岩手県釜石市 鈴木消防副団長から「株式会社パトライトから立派な車両をいただき感謝いたします。この車両は地域の安全安心のために活用していきます。」

福島県南相馬市 桜井市長から「東日本大震災から3年が経過しました。いただいた車両を市民のために有効に使わせていただきます。」とそれぞれお礼の言葉がありました。



平成26年3月12日（水）に行われた釜石市消防団の寄贈式



平成26年3月13日（木）に行われた南相馬市消防団の寄贈式

平成25年度消防功労者消防庁長官表彰

総務省 消防庁

3月5日（水）に「平成25年度消防功労者消防庁長官表彰式」が行われました。この表彰式において受章された消防団員は次のとおりです。

功労章を授与する消防団員（76名）

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
北海道	石狩北部地区消防事務組合石狩消防団	団長	織 田 展 嘉	長野県	須坂市消防団	団長	依 田 浩 明
	〃 上川中部消防組合愛別消防団	団長	中 井 廣 前	岐阜県	多治見市消防団	団長	伊 藤 茂 秋
	〃 砂川地区広域消防組合浦臼消防団	団長	星 井 和 行	愛知県	春日井市消防団	団長	伊 藤 和 弘
	〃 網走地区消防組合網走消防団	団長	松 井 矢 文	〃	名古屋市徳波消防団	団長	岡 田 秀 吉
	〃 南渡島消防事務組合北斗消防団	団長	藤 井 矢 昭	〃	名古屋市豊臣消防団	団長	岡 田 秀 吉
	〃 利尻礼文消防事務組合利尻町消防団	団長	宮 道 義 昭	〃	大治町消防団	団長	安 井 弘 光
	〃 札幌市手稲消防団	団長	安 澤 正 美	三重県	鳥羽市消防団	団長	小 野 田 繁
	〃 苫小牧市消防団	団長	矢 内 信 一	〃	菰野町消防団	団長	小 林 幸 治
	〃 羊蹄山ろく消防組合ニセコ消防団	団長	矢 内 健 雄	〃	紀北町消防団	団長	世 古 林 治
	〃 根室北部消防事務組合中標津消防団	団長	吉 田 賢 二	京都府	京都市左京消防団	団長	梅 景 繁 治
〃 北後志消防組合仁木消防団	団長	渡 田 淳 彦	〃	向日市消防団	団長	岡 田 武 武	
青森県	蓬田村消防団	団長	木 戸 鐵 雄	〃	舞鶴市南消防団	団長	小 山 勝 巳
	〃 弘前市消防団	団長	笹 常 俊	大阪府	堺市美原消防団	団長	氏 林 弘 弘
	〃 五所川原市消防団	団長	須 崎 寛 一	〃	寝屋川市消防団	団長	栗 五 十 二
	〃 南部町消防団	団長	高 橋 勝 敏	兵庫県	神戸市水上消防団	団長	渡 道 真 二
	〃 つがる市消防団	団長	平 川 常 雄	奈良県	高取町消防団	団長	中 村 廣 次
	〃 佐井村消防団	団長	宮 川 尚 高	鳥根県	飯南町消防団	団長	松 田 栄 次
岩手県	久慈市消防団	団長	門 澤 正 浪	岡山県	里庄町消防団	団長	内 本 哲 吾
	〃 岩手町消防団	団長	早 坂 信 一	〃	奈良町消防団	団長	岸 省 実
宮城県	大崎市消防団	団長	倉 田 徹 巖	広島県	尾道市消防団	団長	池 田 富 雄
	〃 多賀城市消防団	団長	佐 藤 長 一朗	〃	広島市中消防団	団長	大 野 富 雄
秋田県	由利本荘市消防団	団長	周 防 彦 宗	〃	安芸高田市消防団	団長	金 山 幸 治
	山形県	大蔵村消防団	団長	鈴 木 君 徳	〃	庄原市消防団	団長
福島県	〃 庄内町消防団	団長	森 巻 善 範	〃	世羅町消防団	団長	地 森 司 博
	川俣町消防団	団長	佐 藤 充 孝	山口県	岩国市消防団	団長	森 口 勝 征
群馬県	〃 会津美里町消防団	団長	山 田 利 美	徳島県	佐那河内村消防団	団長	山 田 明 夫
	〃 碓氷郡消防団	団長	下 谷 宇 一	〃	三好市三野町消防団	団長	長 原 信 夫
埼玉県	〃 館林地区消防組合消防団 板倉消防団	団長	森 田 孝 市	香川県	土庄町消防団	団長	吉 口 正 夫
	〃 入間市消防団	団長	内 村 良 一	愛媛県	新居浜市消防団	団長	片 上 善 久
	〃 菅野町消防団	団長	扇 原 久 栄	高知県	中芸広域連合馬路村消防団	団長	平 山 崇 一
	〃 所沢市消防団	団長	関 根 彌 彌	〃	香南市野市消防団	団長	宮 本 慶 登
東京都	〃 寄居町消防団	団長	逸 見 和 美	〃	香美市消防団	団長	三 谷 賢 一
	〃 三宅村消防団	団長	池 田 裕 城	〃	佐川町消防団	団長	高 和 夫 夫
	〃 稲城市消防団	団長	松 本 幸 次郎	長崎県	長与町消防団	団長	廣 川 廣 美
神奈川県	清川村消防団	団長	井 上 薫 薫	宮崎県	椎葉村消防団	団長	那 須 義 雄
	〃 藤沢市消防団	団長	川 勇 喜 夫	〃	都城市消防団	副団長	牛 谷 稔 一
福井県	〃 相模原市消防団	団長	関 根 成 興	鹿児島県	出水市消防団	団長	平 井 勝 也
	〃 永平寺町消防団	団長	山 本 秀 明	〃	西之表市消防団	団長	福 井 清 信

永年勤続功労章を授与する消防団員(1,749名)

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	砂川地区広域消防組合上砂川消防団	団長	池田 虎男
〃	紋別地区消防組合紋別消防団	団長	伊藤 藤正
〃	西胆振消防組合豊浦消防団	団長	久保 政徳
〃	北見地区消防組合常呂消防団	団長	田中 潤正
〃	紋別地区消防組合滝上消防団	団長	川野 修司
〃	士別地方消防事務組合和寒町消防団	団長	伏見 豊治
〃	石狩北部地区消防事務組合当別消防団	団長	野野 啓一
〃	檜山広域行政組合上ノ国町消防団	副団長	飛鳥 正人
〃	羊蹄山ろく消防組合喜茂別消防団	副団長	阿部 昭
〃	稚内地区消防事務組合稚内消防団	副団長	阿部 隆
〃	西胆振消防組合洞爺湖消防団	副団長	荒瀬 雄
〃	岩内・寿都地方消防組合神恵内消防団	副団長	植原 初雄
〃	上川北部消防事務組合美深消防団	副団長	岩村 信雄
〃	釧路東部消防組合厚岸消防団	副団長	江崎 満
〃	南十勝消防事務組合広尾町消防団	副団長	小島 栄
〃	斜里地区消防組合小清水消防団	副団長	小野 幸
〃	網走地区消防組合東藻琴消防団	副団長	立井 祐次
〃	南十勝消防事務組合中札内消防団	副団長	片岡 隆
〃	北十勝消防事務組合上士幌消防団	副団長	片寄 繁之
〃	北留萌消防組合遠町消防団	副団長	北川 彰
〃	檜山広域行政組合奥尻町消防団	副団長	木村 博昭
〃	遠軽地区広域組合湧別町消防団	副団長	久保 康幸
〃	羊蹄山ろく消防組合倶知安消防団	副団長	小松 孝好
〃	日高東部消防組合えりも町消防団	副団長	坂田 光
〃	日高東部消防組合様似町消防団	副団長	佐々木 健一

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	檜山広域行政組合今金町消防団	副団長	佐藤 修一
〃	西十勝消防組合清水消防団	副団長	高橋 喜通
〃	北十勝消防事務組合音更消防団	副団長	丹野 清一
〃	南空知消防組合栗山消防団	副団長	中野 英隆
〃	利尻礼文消防事務組合利尻富士町消防団	副団長	水田 信
〃	釧路東部消防組合釧路消防団	副団長	中野 村朗
〃	西胆振消防組合伊達消防団	副団長	西村 茂美
〃	根室北部消防事務組合別海消防団	副団長	福原 俊治
〃	日高西部消防組合日高消防団	副団長	藤松 則明
〃	旭川市消防団	副団長	藤川 洋
〃	釧路市消防団	副団長	松橋 幸
〃	利尻礼文消防事務組合礼文町消防団	副団長	宮岡 圭一
〃	富良野広域連合上富良野消防団	副団長	安井 昇
〃	東十勝消防事務組合喜別消防団	副団長	志田 良介
〃	北後志消防組合古平消防団	副団長	山吉 康洋
〃	渡島西部広域事務組合松前消防団	副団長	吉田 祥
〃	南宗谷消防組合枝幸消防団	分団長	秋川 孝行
〃	釧路北部消防事務組合標茶消防団	分団長	麻野 武裕
〃	小樽市消防団	分団長	有賀 邦雄
〃	長万部町消防団	分団長	新谷 好悦
〃	八雲町熊石消防団	分団長	井口 功
〃	赤平市消防団	分団長	石野 谷由
〃	夕張市消防団	分団長	伊波 信幸
〃	小樽市消防団	分団長	北野 文夫
〃	北留萌消防組合羽幌消防団	分団長	岩崎 文夫
〃	遠軽地区広域組合遠軽町消防団	分団長	岩戸 康

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	滝川地区広域消防事務組合新十津川消防団	分団長	遠藤 修己
〃	留萌消防組合小平消防団	分団長	近江 基輝
〃	胆振東部消防組合安平消防団	分団長	大塚 武純
〃	胆振東部消防組合厚真消防団	分団長	岡部 純
〃	函館市南茅部消防団	分団長	鎌田 幸英
〃	日高中部消防組合三石消防団	分団長	渡邊 義吉
〃	上川北部消防事務組合下川消防団	分団長	亀田 岩雄
〃	札幌市東消防団	分団長	亀田 秀幸
〃	八雲町熊石消防団	分団長	川原田 隆
〃	北後志消防組合赤井川消防団	分団長	川人 正明
〃	網走地区消防組合網走消防団	分団長	菊池 公男
〃	根室市消防団	分団長	北角 勇吉
〃	胆振東部消防組合鶴川消防団	分団長	木下 勉
〃	岩内・寿都地方消防組合岩内消防団	分団長	小玉 昌之
〃	函館市南茅部消防団	分団長	齊藤 慎一
〃	根室北部消防事務組合羅臼消防団	分団長	佐々木 孝悦
〃	釧路市消防団	分団長	佐々木 孝良
〃	上川中部消防組合鷹栖消防団	分団長	佐竹 敏明
〃	増毛町消防団	分団長	佐藤 直
〃	苫小牧市消防団	分団長	佐藤 哲雄
〃	渡島西部広域事務組合知内消防団	分団長	佐藤 昌彦
〃	蘭室市消防団	分団長	佐藤 彌一
〃	札幌市南消防団	分団長	佐野 湧
〃	札幌市北消防団	分団長	嶋 順一
〃	岩見沢地区消防事務組合岩見沢消防団	分団長	清水 和
〃	帯広市消防団	分団長	杉江 正

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	千歳市消防団	分団長	鈴木 薫
〃	岩内・寿都地方消防組合高牧消防団	分団長	鈴木 邦男
〃	美瑛市消防団	分団長	鈴木 圭夫
〃	増毛町消防団	分団長	高橋 功
〃	上川北部消防事務組合名寄消防団	分団長	高田 邦吉
〃	芦別市消防団	分団長	高田 川栄
〃	深川地区消防組合観加内消防団	分団長	竹之内 吉博
〃	上川北部消防事務組合風連消防団	分団長	田中 廣勝
〃	士別地方消防事務組合士別市消防団	分団長	谷村 敬俊
〃	南空知消防組合長沼消防団	分団長	田田 渉
〃	上川中部消防組合上川消防団	分団長	辻 拓
〃	恵庭市消防団	分団長	斗澤 義雄
〃	池北三町行政事務組合足寄消防団	分団長	内藤 賀三
〃	札幌市南消防団	分団長	中井 和裕
〃	富良野広域連合富良野消防団	分団長	長田 弘
〃	釧路東部消防組合浜中消防団	分団長	水谷 義美
〃	札幌市南消防団	分団長	中西 光宏
〃	旭川市消防団	分団長	南 部
〃	渡島西部広域事務組合知内消防団	分団長	野戸 政秋
〃	札幌市北消防団	分団長	籠 重樹
〃	江別市消防団	分団長	林 重樹
〃	滝川地区広域消防事務組合雨竜消防団	分団長	原 寛
〃	札幌市北消防団	分団長	平 川賢一
〃	根室北部消防事務組合中標津消防団	分団長	廣瀬 敏雄
〃	胆振東部消防組合徳別消防団	分団長	北原 正臣
〃	森町消防団	分団長	松居 伸市

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	札幌市北消防団	分団長	南 武
〃	稚内地区消防事務組合狭弘消防団	分団長	山田 周
〃	小樽市消防団	分団長	湯上 真吾
〃	檜山広域行政組合 せたな町瀬棚消防団	副分団長	五十嵐 喜代春
〃	北広島市消防団	副分団長	片桐 義昭
〃	釧路北部消防事務組合鶴居消防団	副分団長	渡谷 松男
〃	日高中部消防組合新冠消防団	副分団長	富本 茂吉
〃	北後志消防組合赤井川消防団	副分団長	林 秀明
〃	檜山広域行政組合 せたな町北檜山消防団	副分団長	細川 弘
〃	南宗谷消防組合浜頓別消防団	副分団長	柳 沼芳
〃	根室北部消防事務組合標津消防団	副分団長	吉田 智
〃	北見地区消防組合調子府消防団	部長	澤田 森
青森県	横浜町消防団	団長	小川 孝
〃	深浦町消防団	団長	角 喜春
〃	五所川原市消防団	副団長	阿部 祐一
〃	新郷村消防団	副団長	上野山 富治
〃	八戸市消防団	副団長	上野 玉地
〃	外ヶ浜町消防団	副団長	大谷 鉄男
〃	おいらせ町消防団	副団長	柏崎 千志
〃	弘前市消防団	副団長	鎌田 年英
〃	風間浦村消防団	副団長	北原 智明
〃	むつ市消防団	副団長	今 進
〃	つがる市消防団	副団長	佐藤 公雄
〃	南部町消防団	副団長	志村 邦男
〃	弘前市消防団	副団長	澤田 順造
〃	七戸町消防団	副団長	中 畑 郁夫

都道府県名	所属	階級	氏名
青森県	田子町消防団	副団長	七日市 登
〃	東北町消防団	副団長	新山 助十郎
〃	十和田市消防団	副団長	橋本 勝一
〃	十和田市消防団	副団長	平田 龍太
〃	弘前市消防団	副団長	藤田 正
〃	五所川原市消防団	副団長	前田 正廣
〃	弘前市消防団	副団長	三浦 徹
〃	大間町消防団	副団長	宮野 成厚
〃	中泊町消防団	副団長	相内 仁
〃	今別町消防団	分団長	山田 泰博
〃	平川市消防団	分団長	赤平 忠博
〃	西目屋村消防団	分団長	三田 武広
〃	東通村消防団	分団長	伊柳 晴
〃	階上町消防団	分団長	江上 道三
〃	つがる市消防団	分団長	上野 俊明
〃	むつ市消防団	分団長	大浦 義義
〃	六ヶ所村消防団	分団長	尾崎 瀬太郎
〃	三戸町消防団	分団長	工藤 勝昭
〃	青森市浪岡消防団	分団長	藤原 昌昌
〃	六戸町消防団	分団長	高坂 昌昌
〃	八戸市消防団	分団長	小向 彦彦
〃	青森市青森消防団	分団長	佐藤 武則
〃	青森市青森消防団	分団長	柴田 彰
〃	平川市消防団	分団長	川村 徳一
〃	つがる市消防団	分団長	日神 広一
〃	黒石市消防団	分団長	須藤 弘

都道府県名	所属	階級	氏名
青森県	平内町消防団	分団長	田中 一徳
〃	八戸市消防団	分団長	亘 平吉
〃	南部町消防団	分団長	野原 良治
〃	田舎館村消防団	分団長	中山 勝晴
〃	三沢市消防団	分団長	根岸 正
〃	青森市青森消防団	分団長	野沢 善治
〃	黒石市消防団	分団長	信平 一馬
〃	むつ市消防団	分団長	濱中 昇
〃	板柳町消防団	分団長	三上 義勝
〃	蓬田村消防団	分団長	森 正男
〃	大鰐町消防団	分団長	山崎 高
〃	野辺地町消防団	分団長	横 演 借
〃	佐井村消防団	分団長	葛谷 雅之
〃	五戸町消防団	分団長	類 家利
〃	鯉ヶ沢町消防団	部長	山田 修司
岩手県	雫石町消防団	副団長	石田 明
〃	住田町消防団	副団長	泉田 義昭
〃	大船渡市消防団	副団長	猪股 拓也
〃	軽米町消防団	副団長	小野寺 祐也
〃	花巻市消防団	副団長	鎌田 幸
〃	金ヶ崎町消防団	副団長	菊地 薫
〃	平泉町消防団	副団長	佐々木 吉夫
〃	二戸市消防団	副団長	田口 誠
〃	奥州市消防団	副団長	千 葉 利幸
〃	田野畑村消防団	副団長	中崎 一
〃	大槌町消防団	副団長	橋本 匠市

都道府県名	所属	階級	氏名
岩手県	西和賀町消防団	分団長	赤石 昭
〃	一関市消防団	分団長	渥美 力
〃	遠野市消防団	分団長	阿部 義美
〃	花巻市消防団	分団長	板垣 光善
〃	一関市消防団	分団長	伊藤 貞一
〃	岩手町消防団	分団長	松本 巖
〃	山田町消防団	分団長	上野 祐作
〃	盛岡市消防団	分団長	梅村 光一
〃	久慈市消防団	分団長	生 平 末造
〃	一関市消防団	分団長	小野寺 耕徳
〃	釜石市消防団	分団長	小野寺 徳一
〃	久慈市消防団	分団長	川戸 道三
〃	盛岡市消防団	分団長	川村 茂
〃	奥州市消防団	分団長	菊池 久司
〃	遠野市消防団	分団長	菊池 由美
〃	盛岡市消防団	分団長	北川 正正
〃	宮古市消防団	分団長	木村 義光
〃	八幡平市消防団	分団長	工藤 盛雄
〃	宮古市消防団	分団長	小野寺 池
〃	北上市消防団	分団長	尾野 宏生
〃	滝沢市消防団	分団長	齊藤 民勇
〃	宮古市消防団	分団長	齋藤 仁司
〃	奥州市消防団	分団長	齋藤 正生
〃	洋野町消防団	分団長	相倉 正一
〃	紫波町消防団	分団長	齋藤 俊一
〃			作山 良樹

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
岩手県	宮古市消防団	分団長	佐々木 好明	岩手県	宮古市消防団	分団長	山名 洋
〃	矢巾町消防団	分団長	佐々木 忠明	〃	遠野市消防団	分団長	山名 中一
〃	宮古市消防団	分団長	佐々木 勝弘	〃	葛巻町消防団	分団長	横山 弘夫
〃	花巻市消防団	分団長	佐藤 久博	〃	一関市消防団	副分団長	若嶋 真美
〃	一関市消防団	分団長	佐藤 文博	〃	九戸村消防団	副分団長	若嶋 大孝
〃	久慈市消防団	分団長	沢村 清幸	〃	一関市消防団	副分団長	大下 千葉
〃	一関市消防団	分団長	白沢 廣一	〃	久慈市消防団	団員	水谷 健一
〃	一関市消防団	分団長	菅原 吉男	宮城県	登米市消防団	副団長	浅井 亮喜
〃	一関市消防団	分団長	鈴木 求男	〃	松島町消防団	副団長	内海 邦彦
〃	西和賀町消防団	分団長	高橋 滝彦	〃	石巻市消防団	副団長	内田 彦彦
〃	宮古市消防団	分団長	田鎖 信男	〃	石巻市消防団	副団長	遠藤 宏宏
〃	一関市消防団	分団長	武田 喜良	〃	仙台市太白消防団	副団長	田中 清良
〃	盛岡市消防団	分団長	館澤 茂夫	〃	登米市消防団	副団長	小野寺 民夫
〃	岩泉町消防団	分団長	玉川 明徳	〃	登米市消防団	副団長	亀崎川 久一
〃	北上市消防団	分団長	子田 芳紀	〃	丸森町消防団	副団長	久保 卓郎
〃	岩手町消防団	分団長	戸田 実光	〃	東松島市消防団	副団長	櫻井 光悦
〃	一関市消防団	分団長	沢村 勝美	〃	利府町消防団	副団長	櫻井 隆弘
〃	普代村消防団	分団長	長澤 信明	〃	東松島市消防団	副団長	櫻井 正義
〃	一戸町消防団	分団長	中野 將三	〃	女川町消防団	副団長	佐藤 孝久
〃	釜石市消防団	分団長	野村 光利	〃	亶理町消防団	副団長	清野 喜久雄
〃	野田村消防団	分団長	藤森 俊勝	〃	石巻市消防団	副団長	高橋 正一
〃	八幡平市消防団	分団長	松村 嘉昭	〃	仙台市宮城消防団	副団長	高橋 利一
〃	一関市消防団	分団長	三浦 次男	〃	大崎市消防団	副団長	千葉 正嗣
〃	紫波町消防団	分団長	女鹿 廣幸	〃	大河原町消防団	副団長	千葉 幸義
〃	洋野町消防団	分団長	森澤 光雄	〃	石巻市消防団	副団長	西村 弘弘
〃	盛岡市消防団	分団長	山根 昭昭	〃	名取市消防団	副団長	根元 勝治

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
宮城県	石巻市消防団	副団長	平塚 秀正	宮城県	蔵王町消防団	分団長	沼澤 久夫
〃	登米市消防団	副団長	芳村 忠市	〃	大和町消防団	分団長	草坂 宏一
〃	岩沼市消防団	副団長	渡辺 夫夫	〃	栗原市消防団	分団長	佐々木 圭一
〃	仙台市若林消防団	分団長	石澤 和夫	〃	南三陸町消防団	分団長	三浦 昭一
〃	角田市消防団	分団長	田中 正弘	〃	大郷町消防団	分団長	宮山 郁夫
〃	柴田町消防団	分団長	加藤 一郎	〃	山元町消防団	分団長	宮崎 常男
〃	大崎市消防団	分団長	鹿野 政治	〃	大崎市消防団	分団長	吉田 卓也
〃	栗原市消防団	分団長	岸 圭一	〃	仙台市青葉消防団	分団長	渡辺 洋治
〃	大崎市消防団	分団長	木村 一志	〃	気仙沼市消防団	副分団長	渡辺 泰治
〃	栗原市消防団	分団長	後藤 信夫	〃	塩竈市浦戸消防団	副分団長	内海 栄一
〃	仙台市宮城消防団	分団長	小松 辰一	〃	気仙沼市消防団	副分団長	佐藤 進一
〃	白石市消防団	分団長	佐久間 富次	〃	村田町消防団	副分団長	鈴木 治一
〃	大崎市消防団	分団長	佐々木 敏一	〃	加美町消防団	部長	佐藤 喜一
〃	大崎市消防団	分団長	佐藤 秋男	秋田県	仙北市消防団	副団長	荒木 俊一
〃	川崎町消防団	分団長	佐藤 警一	〃	湯沢市消防団	副団長	加藤 久男
〃	南三陸町消防団	分団長	佐藤 静一	〃	横手市大森消防団	副団長	菊池 二郎
〃	栗原市消防団	分団長	佐藤 宗男	〃	横手市平鹿消防団	副団長	国安 孝夫
〃	仙台市太白消防団	分団長	佐藤 義吉	〃	北秋田市消防団	副団長	杉河 弘一
〃	利府町消防団	分団長	鈴木 俊一	〃	横手市山内消防団	副団長	高橋 弥左門
〃	大崎市消防団	分団長	鈴木 博行	〃	秋田市消防団	分団長	田中 秀一
〃	栗原市消防団	分団長	高橋 孝幸	〃	大館市消防団	分団長	小笠原 勇一
〃	栗原市消防団	分団長	千田 善一	〃	北秋田市消防団	分団長	加賀 昇一
〃	気仙沼市消防団	分団長	子業 正成	〃	能代市消防団	分団長	笠井 康成
〃	大崎市消防団	分団長	子業 隆男	〃	湯上市消防団	分団長	川上 正一
〃	仙台市宮城野消防団	分団長	勅使河原 義一郎	〃	横手市雄物川消防団	分団長	川上 祝一
〃	大崎市消防団	分団長	新田 重憲	〃	五城目町消防団	分団長	小見 多美

都道府県名 所属	階 級	氏 名
秋田県 三種町消防団	分団長	小 玉 廣 司
〃 横手市十文字消防団	分団長	小 近 勝 彦
〃 八郎潟町消防団	分団長	齊 藤 一 郎
〃 大館市消防団	分団長	斎 藤 義 信
〃 大仙市消防団	分団長	佐 川 良 一
〃 大仙市消防団	分団長	佐々木 清 行
〃 大仙市消防団	分団長	佐々木 勇 治
〃 秋田市消防団	分団長	佐々藤 明 雄
〃 由利本荘市消防団	分団長	佐々藤 治 作
〃 大湯村消防団	分団長	佐々藤 壽 臣
〃 大仙市消防団	分団長	佐々藤 聖 臣
〃 湯沢市消防団	分団長	菅 義 照
〃 秋田市消防団	分団長	杉 山 竹 義
〃 秋田市消防団	分団長	須 磨 良 一
〃 湯上市消防団	分団長	須 仲 人 一
〃 鹿角市消防団	分団長	田 原 淳 二
〃 横手市横手消防団	分団長	津 川 吉 男
〃 美郷町消防団	分団長	照 井 正 明
〃 能代市消防団	分団長	七 坂 美 夫
〃 美郷町消防団	分団長	畑 山 源 太郎
〃 大館市消防団	分団長	高 山 弘 一
〃 仙北市消防団	分団長	林 崎 久 一
〃 大館市消防団	分団長	日 景 賢 一
〃 能代市消防団	分団長	平 澤 夫 一
〃 大仙市消防団	分団長	藤 井 辰 雄
〃 仙北市消防団	分団長	藤 島 絹 雄

都道府県名 所属	階 級	氏 名
秋田県 羽後町消防団	分団長	藤 原 宣 一
〃 由利本荘市消防団	分団長	藤 原 正 三
〃 秋田市消防団	分団長	保 坂 勝 実
〃 八峰町消防団	分団長	本 多 浦 雄
〃 井川町消防団	分団長	本 三 公 徳
〃 男鹿市消防団	分団長	自 黒 龍 彦
〃 大仙市消防団	分団長	茂 木 龍 之 介
〃 上小阿仁村消防団	分団長	山 形 武 夫
〃 仙北市消防団	分団長	吉 田 善 美
〃 北秋田市消防団	分団長	吉 田 竹 雄
〃 男鹿市消防団	分団長	吉 田 陽 一
〃 大仙市消防団	副分団長	池 田 孝 一
〃 大仙市消防団	副分団長	加 藤 俊 作
〃 大仙市消防団	副分団長	藤 藤 猛 男
〃 横手市増田消防団	副分団長	佐々藤 富 雄
〃 小坂町消防団	班 長	久 保 光 市
山形県 飯豊町消防団	副団長	井 上 和 浩
〃 川西町消防団	副団長	神 尾 素 太郎
〃 寒河江市消防団	副団長	寺 鬼 一 一
〃 長井市消防団	副団長	等 嶋 嘉 春
〃 鶴岡市消防団	副団長	照 井 和 明
〃 鶴岡市消防団	副団長	富 樫 正 明
〃 南陽市消防団	副団長	西 澤 明 夫
〃 尾花沢市消防団	副団長	長 西 邦 夫
〃 小国町消防団	副団長	渡 部 茂 和
〃 中山町消防団	分団長	秋 葉 和 則

都道府県名 所属	階 級	氏 名
山形県 鶴岡市消防団	分団長	五十嵐 英 紀
〃 最上町消防団	分団長	伊 藤 勝 一
〃 村山市消防団	分団長	海老名 正 彦
〃 酒田市消防団	分団長	遠 田 君 雄
〃 鶴岡市消防団	分団長	太 田 裕 一
〃 遊佐町消防団	分団長	後 藤 一 祐
〃 鮭川村消防団	分団長	笹 原 武 文
〃 真室川町消防団	分団長	佐 藤 勝 郎
〃 酒田市消防団	分団長	高 橋 芳 剛
〃 舟形町消防団	分団長	武 山 守 一
〃 山辺町消防団	分団長	武 田 修 一
〃 山形市消防団	分団長	田 光 夫 一
〃 大蔵村消防団	分団長	長 南 一 彦
〃 最上町消防団	分団長	中 西 一 也
〃 戸沢村消防団	分団長	西 嶋 洋 一
〃 酒田市消防団	分団長	早 水 一 彦
〃 酒田市消防団	分団長	本 間 俊 明
〃 山形市消防団	分団長	結 城 正 志
〃 上山市消防団	分団長	横 戸 和 昭
〃 鶴岡市消防団	分団長	菅 田 一 彦
〃 大江町消防団	分団長	渡 辺 勉 一
〃 河北町消防団	分団長	渡 辺 高 雄
〃 酒田市消防団	副分団長	阿 部 恒 幸
〃 酒田市消防団	副分団長	佐 藤 俊 一
〃 大石田町消防団	副分団長	村 岡 良 一
〃 新庄市消防団	団員	近 藤 啓 一

都道府県名 所属	階 級	氏 名
山形県 東根市消防団	団員	水 瀬 政 志
福島県 二本松市消防団	団長	佐 藤 東 太郎
〃 中島村消防団	副団長	小 郷 針 秀 人
〃 平田村消防団	副団長	澤 村 兼 一
〃 郡山市消防団	副団長	鈴 木 武 一
〃 柳津町消防団	副団長	鈴木 力 一
〃 須賀川市消防団	副団長	善 方 明 夫
〃 郡山市消防団	副団長	手代木 樹 一
〃 田村市消防団	副団長	水 井 弘 純
〃 塙町消防団	副団長	藤 田 芳 利
〃 須賀川市消防団	副団長	藤 宗 形 夫
〃 南会津町消防団	分団長	青 柳 正 則
〃 会津若松市消防団	分団長	飯 塚 洋 一
〃 南相馬市消防団	分団長	伊 佐 見 眞 一
〃 いわき市消防団	分団長	石 井 宮 長
〃 福島市消防団	分団長	茨 木 利 一
〃 いわき市消防団	分団長	遠 藤 徹 二
〃 いわき市消防団	分団長	大 田 正 道
〃 新地町消防団	分団長	岡 崎 仁 一
〃 川俣町消防団	分団長	前 野 一 彦
〃 伊達市消防団	分団長	菅 野 好 弘
〃 会津若松市消防団	分団長	菊 地 剛 雄
〃 いわき市消防団	分団長	小 堀 信 夫
〃 いわき市消防団	分団長	小 松 明 朗
〃 南会津町消防団	分団長	見 川 一 彦
〃 伊達市消防団	分団長	齋 藤 一 彦

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名	
福島県	伊達市消防団	分団長	佐久間 一 郎	福島県	福島市消防団	副分団長	尾形 富 康	
	西会津町消防団	分団長	佐久間 嘉 晴		会津若松市消防団	副分団長	小 椋 八 朗	
	喜多方市消防団	分団長	佐 藤 靖 宏		福島市消防団	副分団長	菅 野 一 毅	
	南会津町消防団	分団長	佐 藤 洋 一		新地町消防団	副分団長	草 野 山 男	
	桑折町消防団	分団長	穴 戸 孝 明		下郷町消防団	副分団長	正 野 高 行	
	富岡町消防団	分団長	穴 戸 弘 道		伊達市消防団	副分団長	齋 藤 謙 次 郎	
	福島市消防団	分団長	栗 田 徳 勇		桑折町消防団	副分団長	齋 藤 利 男	
	楡葉町消防団	分団長	鈴木 恒 男		福島市消防団	副分団長	坂 井 喜 則	
	南相馬市消防団	分団長	但 野 幸 一		福島市消防団	副分団長	佐 藤 弘 泰	
	田村市消防団	分団長	土 屋 春 一		いわき市消防団	副分団長	比 山 口 茂 起	
	いわき市消防団	分団長	青 天 孝 一		西会津町消防団	副分団長	山 口 井 利 一	
	福島市消防団	分団長	二 階 忠 雄		いわき市消防団	団員	園 井 義 一	
	会津若松市消防団	分団長	芳 賀 徳 章		いわき市消防団	団員	高 水 橋 一 義	
	いわき市消防団	分団長	平 山 正 一		いわき市消防団	団員	水 崎 崎 男	
	福島市消防団	分団長	平 橋 宝 己		茨城県	八千代町消防団	団長	生 井 伸 一
	磐梯町消防団	分団長	坂 本 多 幸 一		かすみがら市消防団	副団長	磯 部 酒 雄	
	南会津町消防団	分団長	室 井 英 雄		筑西市消防団	副団長	福 田 業 夫	
	川俣町消防団	分団長	安 田 泰 良		筑西市消防団	副団長	福 田 大 輝	
	金山町消防団	分団長	横 田 俊 道		神栖市消防団	副団長	大 負 一 政	
	いわき市消防団	分団長	吉 田 慎 一郎		つくば市消防団	副団長	小 堀 淑 守	
田村市消防団	分団長	吉 田 孝 雄	常陸太田市消防団	副団長	佐 藤 信 照			
いわき市消防団	分団長	吉 田 正 人	つくば市消防団	副団長	佐 野 利 夫			
喜多方市消防団	分団長	徳 渡 逸 賢	下妻市消防団	副団長	佐 藤 博 行			
田村市消防団	分団長	徳 渡 真 苗	つくばみらい市消防団	副団長	佐 藤 島 博			
いわき市消防団	副分団長	荒 川 邦 夫	土浦市消防団	副団長	佐 藤 豊 草 男			
いわき市消防団	副分団長	五十嵐 豊						
茨城県	茨城町消防団	副団長	松 本 清 次	群馬県	沼田市消防団	分団長	南 美 喜 雄	
	神栖市消防団	副団長	溝 口 賢 太郎		南牧村消防団	団員	市 川 賢 一	
	城里町消防団	副団長	森 田 宏 一		神流町消防団	団員	田 村 利 男	
	日立市消防団	分団長	草 地 幸 一		伊奈消防団	団長	東 一 男	
	大洗町消防団	分団長	倉 持 栄 保		蓮田市消防団	団長	伊勢谷 正 和	
	水戸市消防団	分団長	小 室 一 史		小鹿野町消防団	団長	伊 藤 大 一 敏	
	上三川町消防団	団長	上 野 政 博		朝霞市消防団	団長	小 寺 信 入	
	那須町消防団	団長	上 野 道 男		本庄市消防団	団長	小 関 隆 敏	
	小山市消防団	副団長	飯 高 定 男		上里町消防団	団長	高 橋 光 晴	
	大田原市消防団	副団長	江 連 正 志		神川町消防団	副団長	和 久 井 往 幸 広	
	茂木町消防団	副団長	大 塚 縁 仁 志		春日部市庄和消防団	副団長	伊 藤 幸 庄 広	
	栃木市消防団	副団長	大豆生田 隆 士		松伏町消防団	副団長	鈴 木 高 富 士 夫	
	下野市消防団	副団長	岡 本 恵 士		白岡市消防団	副団長	高 橋 宗 一 志	
	日光市消防団	副団長	小 栗 功 一		春日部市春日部消防団	副団長	竹 内 光 一 志	
	足利市消防団	副団長	山 本 誠 一		和光市消防団	副団長	富 岡 宗 一 美	
群馬県	館林地区消防組合消防団 邑楽消防団	団長	関 口 弘 一	秩父市消防団	副団長	水 田 勝 美		
上野村消防団	副団長	今 井 和 久	比企広城市町村圏組合東松山消防団	副団長	野 村 孝 行			
富岡市消防団	副団長	今 井 晴 夫	久喜市消防団	副団長	長 谷 川 智 英			
桐生市消防団	副団長	内 田 正 一	鴻巣市消防団	副団長	谷 澤 一 勉			
草津町消防団	副団長	金 丸 勝 利	宮代町消防団	副団長	水 谷 宗 一 夫			
嬬恋消防団	副団長	黒 岩 敏 行	鴻巣市消防団	分団長	新 井 康 夫			
高崎市消防団	副団長	野 村 高 久	さいたま市消防団	分団長	岡 田 正 和			
館林地区消防組合消防団 館林消防団	副団長	野 村 政 美	熊谷市消防団	分団長	野 村 邦 明			
下仁田町消防団	副団長	林 孝 一	さいたま市消防団	分団長	川 鍋 伸 行			
大泉町消防団	分団長	田 隆 志	行田市消防団	分団長	川 鍋 利 治			
安中市消防団	分団長	中 里 巧 一	熊谷市消防団	分団長	木 部 隆 章			

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
埼玉県	分団長	小兼久法	千葉県	副団長	井戸知
〃	分団長	酒井久之	〃	副団長	大澤弘一
〃	分団長	坂田俊行	〃	副団長	大塚精一
〃	分団長	成田厚明	〃	副団長	岡本宜幸
〃	分団長	肥島茂吉	〃	副団長	岡本三男
〃	分団長	萩原清治	〃	副団長	木田三男
〃	分団長	羽根敏雄	〃	副団長	木村秀和
〃	副分団長	川上敬三	〃	副団長	小池秀也
〃	副分団長	川人敏雄	〃	副団長	小崎哲也
〃	副分団長	鯨井義博	〃	副団長	須藤嘉
〃	副分団長	島田一政	〃	副団長	鈴木哲
〃	副分団長	白坂昌三	〃	副団長	塚本勝男
〃	副分団長	高橋真佐	〃	副団長	中村教雄
〃	副分団長	竹内正倫	〃	副団長	津野洋一
〃	副分団長	藤波隆治	〃	副団長	深津一
〃	副分団長	森田定雄	〃	副団長	松本重之
〃	部長	浅子勇	〃	副団長	安川博章
〃	部長	山田中茂	〃	副団長	米倉健明
千葉県	団長	佐藤博勝	〃	副団長	秋元秀夫
〃	団長	二階堂孝	〃	分団長	元元夫
〃	副団長	相川英明	〃	分団長	若立直人
〃	副団長	秋山忠史	〃	分団長	鹿野利幸
〃	副団長	浅野明	〃	分団長	齊藤裕
〃	副団長	安達博	〃	分団長	佐藤雅彦
〃	副団長	石井男	〃	分団長	石川喜代
〃	副団長	石井利明	〃	分団長	松丸敏雄
東京都	分団長	峯村孝雄	東京都	副団長	筋野明
〃	分団長	渡邊進亮	〃	副団長	関寛
〃	分団長	渡邊進郎	〃	副団長	高橋八
〃	分団長	渡邊直樹	〃	副団長	田倉勝
〃	副分団長	杉山勝巳	〃	副団長	内田満里子
〃	班長	高橋真	〃	副団長	内藤敏男
〃	班長	井田誠一	〃	副団長	平良次
東京都	団長	寛井壽夫	〃	副団長	米田郁
〃	団長	小寺正明	〃	副団長	牧野吉孝
〃	団長	関古一	〃	副団長	山浦美
〃	団長	内藤豊一	〃	副団長	山下勝義
〃	団長	渡邊正明	〃	副団長	山野光
〃	副団長	朝倉一夫	〃	副団長	横田政衛
〃	副団長	阿波英夫	〃	副団長	渡邊勝彦
〃	副団長	井口雅和	〃	分団長	阿部一馬
〃	副団長	池田勇男	〃	分団長	安部治
〃	副団長	石井重和	〃	分団長	池田和年
〃	副団長	伊藤一徳	〃	分団長	市田真夫
〃	副団長	岡田利彦	〃	分団長	小田見
〃	副団長	岡村安太郎	〃	分団長	岡鏡徳太郎
〃	副団長	春日寛史	〃	分団長	加藤明
〃	副団長	河行賢次	〃	分団長	菊池松太郎
〃	副団長	小坂敏男	〃	分団長	倉島智
〃	副団長	佐藤陽一	〃	分団長	倉田常光
〃	副団長	杉浦文一	〃	分団長	小久保道明
東京都	副団長	品川防	東京都	副団長	品川防
〃	副団長	千住防	〃	副団長	千住防
〃	副団長	日野防	〃	副団長	日野防
〃	副団長	芝防	〃	副団長	芝防
〃	副団長	杉並防	〃	副団長	杉並防
〃	副団長	本郷防	〃	副団長	本郷防
〃	副団長	府中市防	〃	副団長	府中市防
〃	副団長	赤羽防	〃	副団長	赤羽防
〃	副団長	高輪防	〃	副団長	高輪防
〃	副団長	深川防	〃	副団長	深川防
〃	副団長	臨港防	〃	副団長	臨港防
〃	副団長	西新井防	〃	副団長	西新井防
〃	副団長	荏原防	〃	副団長	荏原防
〃	副団長	練馬防	〃	副団長	練馬防
〃	分団長	豊島防	〃	分団長	豊島防
〃	分団長	野方防	〃	分団長	野方防
〃	分団長	八王子市防	〃	分団長	八王子市防
〃	分団長	本所防	〃	分団長	本所防
〃	分団長	麴町防	〃	分団長	麴町防
〃	分団長	京橋防	〃	分団長	京橋防
〃	分団長	大森防	〃	分団長	大森防
〃	分団長	青々島防	〃	分団長	青々島防
〃	分団長	西東京市防	〃	分団長	西東京市防
〃	分団長	金町防	〃	分団長	金町防
〃	分団長	足立防	〃	分団長	足立防

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
東京都 赤坂消防団	分団長	小堀 章	神奈川県 松田町消防団	副団長	井上 秀人
〃 神田消防団	分団長	藤原 雄	〃 横浜市旭消防団	副団長	内田 隆隆
〃 江戸川消防団	分団長	神宮司 忠	〃 横浜市港北消防団	副団長	内發 茂
〃 滝野川消防団	分団長	菅原 隆	〃 相模原市消防団	副団長	木川 徹
〃 荻窪消防団	分団長	山崎 清	〃 横浜市山手消防団	副団長	鈴添 勝夫
〃 葛西消防団	分団長	高見 順一	〃 伊勢原市消防団	副団長	田中 相浩
〃 池袋消防団	分団長	乃石 和志	〃 相模原市消防団	副団長	中道 隆雄
〃 矢口消防団	分団長	知久 良夫	〃 横浜市金沢消防団	副団長	中平 野龍
〃 王子消防団	分団長	直井 義憲	〃 横浜市西消防団	分団長	相沢 英隆
〃 四谷消防団	分団長	奈良 憲治	〃 逗子市消防団	分団長	相沢 三三
〃 新宿消防団	分団長	橋本 喜久雄	〃 横浜市都筑消防団	分団長	井上 新一
〃 中野消防団	分団長	野井 敏夫	〃 横浜市磯子消防団	分団長	宇賀神 守
〃 荒川消防団	分団長	古谷 敏彦	〃 横浜市栄消防団	分団長	白井 正明
〃 石神井消防団	分団長	本橋 勇	〃 横浜市神奈川消防団	分団長	小内 秀彰
〃 城東消防団	分団長	山内 孝壽	〃 伊勢原市消防団	分団長	内小 澤吾
〃 光が丘消防団	分団長	吉田 和生	〃 横浜市戸塚消防団	分団長	小尾 矢宏
〃 渋谷消防団	分団長	吉田 実和	〃 横浜市鶴見消防団	分団長	香取 正彦
〃 日本堤消防団	分団長	渡邊 忠和	〃 横浜市泉消防団	分団長	金子 健
〃 世田谷消防団	副分団長	山田 弘	〃 秦野市消防団	分団長	山田 洋
〃 向島消防団	副分団長	加藤 久	〃 横浜市保土ヶ谷消防団	分団長	久保田 重雄
〃 大井消防団	副分団長	木村 美夫	〃 川崎市麻生消防団	分団長	小泉 信
〃 浅草消防団	副分団長	内藤 信夫	〃 横浜市南消防団	分団長	河野 紀久
〃 成城消防団	副分団長	福田 輝男	〃 川崎市幸消防団	分団長	藤田 重樹
〃 日本橋消防団	副分団長	松本 勇次	〃 海老名市消防団	分団長	三浦 茂雄
神奈川県 横浜市加賀町消防団	団長	徳水 福正	〃 秦野市消防団	分団長	高島 村善
〃 箱根町消防団	副団長	青野 正信	〃 鎌倉市消防団	分団長	池田 善太郎

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
神奈川県 真鶴町消防団	分団長	谷平 進	神奈川県 茅ヶ崎市消防団	団員	鳥居 久訓
〃 川崎市川崎消防団	分団長	常井 仁	〃 海老名市消防団	団員	西谷 秀一
〃 横浜市緑消防団	分団長	土志 白己	新潟県 新発田市消防団	団長	伊藤 光
〃 川崎市麻生消防団	分団長	中島 眞一	〃 阿賀町消防団	副団長	阿部 保雄
〃 厚木市消防団	分団長	原田 正巳	〃 三条市消防団	副団長	石野 利英
〃 平塚市消防団	分団長	福田 雅彰	〃 聖籠町消防団	副団長	伊石 利彰
〃 横須賀市消防団	分団長	辺見 正吉	〃 五泉市消防団	副団長	大槻 彰
〃 川崎市臨港消防団	分団長	徳谷 賢一	〃 柏崎市消防団	副団長	小野田 隆
〃 川崎市宮前消防団	分団長	持田 弘二	〃 新潟市消防団	副団長	高野 潤
〃 厚木市消防団	分団長	望月 三朗	〃 妙高市消防団	副団長	古家 相彦
〃 横浜市港南消防団	副分団長	相原 敏雄	〃 佐渡市消防団	副団長	佐藤 博
〃 横須賀市消防団	副分団長	相原 義信	〃 新潟市消防団	副団長	齋藤 三夫
〃 藤沢市消防団	副分団長	菅末 孝	〃 村上市消防団	副団長	斎藤 七夫
〃 松田町消防団	副分団長	安藤 義文	〃 南魚沼市消防団	副団長	佐藤 晴彦
〃 横浜市伊勢佐木消防団	副分団長	昌藤 宏	〃 新潟市消防団	副団長	草川 吉久
〃 藤沢市消防団	副分団長	佐藤 秀和	〃 長岡市消防団	副団長	早野 吉
〃 横浜市青葉消防団	副分団長	田原 美智雄	〃 長岡市消防団	副団長	平澤 秀一
〃 横浜市瀬谷消防団	副分団長	望月 久	〃 十日町市消防団	副団長	保坂 隆
〃 藤沢市消防団	部長	秋元 壽男	〃 佐渡市消防団	副団長	本間 裕
〃 藤沢市消防団	班長	福嶋 誠一	〃 弥彦村消防団	副団長	丸山 浩
〃 大和市消防団	班長	猪熊 正則	〃 小千谷市消防団	副団長	水内 栄
〃 大和市消防団	班長	曾根 誠	〃 佐渡市消防団	分団長	安藤 雅彦
〃 横須賀市消防団	班長	曾根 隆	〃 長岡市消防団	分団長	五十嵐 正博
〃 藤沢市消防団	団員	青木 孝夫	〃 糸魚川市消防団	分団長	伊藤 信明
〃 寒川町消防団	団員	小澤 子明	〃 糸魚川市消防団	分団長	伊藤 茂
〃 茅ヶ崎市消防団	団員	鈴木 俊明	〃 柏崎市消防団	分団長	若岩 満

都道府県名 所属	階 級	氏 名	都道府県名 所属	階 級	氏 名
新潟県 佐渡市消防団	分団長	大 樋 健 夫	富山県 水見市消防団	副団長	坂 本 正 治
〃 柏崎市消防団	分団長	金 子 恵 一	〃 射水市消防団	副団長	三 橋 秀 昭
〃 南魚沼市消防団	分団長	上 村 明 保	〃 立山町消防団	副団長	田 村 保 雄
〃 津南町消防団	分団長	桑 原 和 博	〃 富山市消防団	副団長	中 林 光 夫
〃 柏崎市消防団	分団長	駒 野 和 博	〃 射水市消防団	副団長	長 谷 川 治 夫
〃 加茂市消防団	分団長	樺 文 一	〃 富山市消防団	分団長	天 野 治 夫
〃 新潟市消防団	分団長	佐 藤 昭 義	〃 富山市消防団	分団長	上 野 文 寛
〃 新潟市消防団	分団長	佐 藤 浩 秋	〃 砺波市消防団	分団長	下 保 豊 房
〃 新発田市消防団	分団長	塩 谷 行 男	〃 富山市消防団	分団長	貴 堂 利 房
〃 新潟市消防団	分団長	白 石 勝 信	〃 高岡市消防団	分団長	坂 井 勉 夫
〃 湯沢町消防団	分団長	木 一 秀 夫	〃 砺波市消防団	分団長	高 田 茂 夫
〃 上越市消防団	分団長	富 武 司 司	〃 高岡市消防団	分団長	田 子 秀 夫
〃 魚沼市消防団	分団長	中 村 正 克	〃 富山市消防団	分団長	田 中 保 夫
〃 新潟市消防団	分団長	二 瓶 正 彦	〃 射水市消防団	分団長	山 本 英 夫
〃 新潟市消防団	分団長	長 谷 川 俊 義	〃 魚津市消防団	分団長	徳 越 本 義 昭
〃 十日町市消防団	分団長	羽 島 茂 直	〃 高岡市消防団	分団長	中 尾 英 昭
〃 長岡市消防団	分団長	平 澤 敏 彦	〃 富山市消防団	分団長	西 野 清 作
〃 糸魚川市消防団	分団長	平 林 正 守	〃 射水市消防団	分団長	坂 東 昭 夫
〃 十日町市消防団	分団長	藤 木 博 夫	〃 上田市消防団	分団長	口 久 昌 秀
〃 田上町消防団	分団長	日本 尚 満	〃 高岡市消防団	分団長	藤 口 昌 秀
〃 長岡市消防団	分団長	米 井 彰 夫	〃 黒部市消防団	分団長	宮 崎 秀 夫
〃 柏崎市消防団	分団長	渡 邊 正 司	石川県 能美市消防団	副団長	浅 田 薫 一
〃 阿賀野市消防団	副分団長	田 中 政 衛	〃 かほく市消防団	副団長	今 城 清 義
〃 十日町市消防団	部長	富 澤 佐 郎	〃 中能登町消防団	副団長	富 打 孝 正
〃 胎内市消防団	団員	高 橋 正 栄	〃 小松市消防団	副団長	新 川 勝 正
富山県 富山市消防団	副団長	浅 名 長 工 門	〃 野々市市消防団	副団長	中 村 昭 一
石川県 能登町消防団	副団長	宮 下 彰 雄	山梨県 上野原市消防団	団員	清 水 久 雄
〃 輪島市消防団	分団長	池 澤 勇 夫	〃 小菅村消防団	団員	吉 家 照 彦
〃 輪島市消防団	分団長	上 田 一 郎	長野県 北相木村消防団	団長	井 出 康 徳
〃 七尾市第1消防団	分団長	川 口 竹 弘	〃 佐久穂町消防団	団長	高 橋 康 徳
〃 穴水町消防団	分団長	小 林 洋 之 介	〃 木曾町消防団	団長	見 野 光 九 仁
〃 金沢市第二消防団	分団長	野 村 茂 夫	〃 上松町消防団	副団長	山 田 弘 一
〃 宝達志水町消防団	分団長	平 田 剛 一	〃 王滝村消防団	副団長	下 村 邦 之
〃 白山市北消防団	副分団長	高 村 正 治	〃 長野市消防団	副団長	滝 本 隆 徳
〃 志賀町消防団	団員	角 野 敏 明	〃 売木村消防団	副団長	松 村 文 人
〃 珠洲市消防団	団員	野 田 健 一	〃 御代田町消防団	副団長	丸 山 和 昭
福井県 敦賀美方消防組合敦賀消防団	団長	上 塚 憲 一	〃 上田市消防団	副団長	矢 島 昭 徳
〃 福井市消防団	団長	水 島 三 雄	〃 松本市消防団	分団長	大 原 明 夫
〃 大野市消防団	団長	安 尚 勝 也	〃 筑北村消防団	分団長	加 藤 修 司
〃 嶺北消防組合あわら消防団	団長	山 口 逸 夫	〃 長野市消防団	分団長	小 嶋 賢 一
〃 勝山市消防団	副団長	久 保 金 喜	〃 松本市消防団	分団長	酒 井 基 行
〃 南越消防組合南越前消防団	副団長	堀 口 格 世	〃 長野市消防団	分団長	下 條 基 算
〃 南越消防組合越前市消防団	副団長	山 崎 英 巳	〃 松本市消防団	分団長	平 林 千 佳 男
〃 福井市消防団	分団長	後 藤 文 夫	〃 長野市消防団	分団長	松 本 晴 貴
山梨県 道志村消防団	団長	山 口 栄 一	〃 塩尻市消防団	団員	岩 村 照 彦
〃 甲府市消防団	副団長	山 田 弘 之	〃 長野市消防団	団員	井 上 忠 幸
〃 西桂町消防団	分団長	梶 原 日出 男	〃 南木曾町消防団	団員	桐 山 幸 泰
〃 甲府市消防団	分団長	戸 澤 光 男	岐阜県 瑞浪市消防団	団長	大 島 和 行
〃 葦崎市消防団	分団長	原 隆 匡	〃 羽島市消防団	副団長	大 泉 徳 行
〃 上野原市消防団	団員	石 原 信 一	〃 池田町消防団	副団長	今 田 而 平
〃 小菅村消防団	団員	奥 一 俊 夫	〃 北方町消防団	副団長	日 井 智 彦
〃 道志村消防団	団員	佐 藤 智 秀	〃 本巣市消防団	副団長	宇 野 紀 一

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
岐阜県	高山市消防団	副団長	大田 元之助	静岡県	伊東市消防団	団長	高橋 文文
	下呂市消防団	副団長	大田 勝則		清水町消防団	団長	山本 洋洋
	神戸町消防団	副団長	岡田 浩康		三島市消防団	副団長	伊東 忠彦
	下呂市消防団	副団長	越 裕之彦		静岡市消防団	副団長	海野 昌郎
	関ヶ原町消防団	副団長	佐 竹 隆彦		浜松市消防団	副団長	小野 次
	郡上市消防団	副団長	佐 藤 二		熱海市消防団	副団長	菊地 次
	多治見市消防団	副団長	栗 司		藤枝市消防団	副団長	木村 信
	高山市消防団	副団長	竹腰 喜久男		富士宮市消防団	副団長	佐野 泰信
	八百津町消防団	副団長	林 久宜		焼津市消防団	副団長	高常 明彦
	高山市消防団	副団長	谷本 義則		小山町消防団	副団長	西田 行
	高山市消防団	副団長	橋本 義博		下田市消防団	副団長	西川 勇
	瑞穂市消防団	副団長	瀬 真昭		三島市消防団	副団長	山口 勇
	各務原市消防団	副団長	廣瀬 民昭		富士市消防団	分団長	秋山 勇
	恵那市消防団	副団長	野 富夫		下田市消防団	分団長	佐 孝
	海津市消防団	副団長	森 武司		富士市消防団	分団長	佐野 章
	関市消防団	副団長	森 久		富士市消防団	分団長	佐 久
	笠松町消防団	分団長	天野 利樹		静岡市消防団	分団長	杉山 貴之
	飛騨市消防団	分団長	大塚 康		富士市消防団	分団長	鈴木 謙
	高山市消防団	分団長	奥 晋		焼津市消防団	分団長	鈴木 章
	中津川市消防団	分団長	小幡 弘信		島田市消防団	分団長	富田 弘
中津川市消防団	分団長	澤本 秀一	西伊豆町消防団	副分団長	居山 清義		
高山市消防団	分団長	下田 則夫	沼津市消防団	団員	津島 正洋		
高山市消防団	分団長	末 誠	沼津市消防団	団員	伊佐 洋		
瑞穂市消防団	分団長	菅 林 孝	愛知県	岡崎市六名消防団	団長	今井 次	
飛騨市消防団	分団長	菅 林 孝	名古屋市川原消防団	団長	今井 次		
中津川市消防団	分団長	菅 林 孝	名古屋市野立消防団	団長	大矢 秋		
愛知県	名古屋市千代田橋消防団	団長	酒井 光義	愛知県	江南市消防団	団員	小川 史
新城市消防団	団長	佐宗 龍	一宮市消防団	団員	梶浦 待		
名古屋市二城消防団	団長	末 良吉	北名古屋市消防団	団員	前田 和		
名古屋市中川消防団	団長	中田 秀樹	豊山町消防団	団員	柳田 裕		
名古屋市清水消防団	団長	長谷川 春	扶桑町消防団	団員	堀田 二		
岡崎市山中消防団	団長	畑 忠博	一宮市消防団	団員	九二 義		
名古屋市上名古屋消防団	団長	服部 正	一宮市消防団	団員	前畑 一		
名古屋市滝ノ水消防団	団長	外 勝雄	小牧市消防団	団員	宮崎 達		
名古屋市豊岡消防団	団長	矢野 武司	豊橋市消防団	団員	山崎 善		
名古屋市柳消防団	団長	樋井 昌	三重県	伊賀市消防団	副団長	加藤 友也	
尾張旭市消防団	副団長	大竹 功	四日市市消防団	副団長	加藤 久		
岡崎市梅岡消防団	副団長	西川 純一	津市消防団	副団長	清水 喜代己		
清須市消防団	副団長	牧野 紀広	志摩市消防団	副団長	山下 勇		
半田市消防団	副団長	向瀬 雅	津市消防団	分団長	菅 吉美		
清須市消防団	副団長	山田 沼	熊野市消防団	分団長	本川 行		
豊山町消防団	分団長	岡 清隆	津市消防団	分団長	小川 夫		
瀬戸市消防団	分団長	近 靖輔	東員町消防団	分団長	加藤 和彦		
西尾市一色消防団	分団長	鈴木 輝昭	鈴鹿市消防団	分団長	加藤 博		
豊山町消防団	副分団長	秋田 勇	伊勢市消防団	分団長	藤原 清美		
一宮市消防団	副分団長	加藤 彦彦	東員町消防団	分団長	河津 次		
尾張旭市消防団	副分団長	水野 文	鈴鹿市消防団	分団長	遠下 井生		
半田市消防団	部長	榑 原 寛	菰野町消防団	分団長	武田 重基		
一宮市消防団	部長	日比野 文俊	桑名市消防団	分団長	中川 正		
北名古屋市消防団	班長	近 彦彦	四日市市消防団	分団長	吉原 藏		
江南市消防団	団員	猪子 悦孝	熊野市消防団	副分団長	吉原 本		
一宮市消防団	団員	魚住 武司					

都道府県名 所属	階 級	氏 名	都道府県名 所属	階 級	氏 名
三重県 亀山市消防団	副分団長	三三 方 薫	京都府 京都市伏見消防団	分団長	竹内 秀之
〃 尾鷲市消防団	部 長	三三 古 勝彦	〃 久御山町消防団	分団長	山田 村季
〃 松阪市消防団	団 員	三三 北 村 準	〃 京都市山科消防団	分団長	山前 田正行
滋賀県 松阪市消防団	団 員	三三 鈴 木 忠司	〃 木津川市消防団	分団長	山井 井成
〃 高島市消防団	副団長	三三 原 芳 剛	〃 京都市下京消防団	分団長	山村 尚茂
〃 長浜市消防団	副団長	三三 岡 義 孝	〃 京都市中京消防団	分団長	山越 晴一
〃 長浜市消防団	副団長	三三 小 川 和洋	〃 宇治市消防団	副分団長	山中 谷一
〃 高島市消防団	副団長	三三 川 内 和洋	大阪府 和泉市消防団	団 長	山本 成夫
〃 守山市消防団	副団長	三三 北 村 昇	〃 枚方市消防団	副団長	山田 山喜
〃 大津市消防団	副団長	三三 小 林 一郎	〃 池田市消防団	副団長	片山 照一
〃 甲賀市消防団	副団長	三三 富 増 章	〃 泉南市消防団	副団長	辻 秀介
〃 甲賀市消防団	副団長	三三 増 田 彦	〃 交野市消防団	副団長	萬 田 彦一
〃 大津市消防団	副団長	三三 山 本 敏 明	〃 交野市消防団	副団長	富 田 庄一
京都府 与謝野町消防団	団 長	三三 澤 高 登一	〃 大東市消防団	副団長	山田 由司
〃 舞鶴市池内消防団	団 長	三三 西 野 正 一	〃 寝屋川市消防団	副団長	西 幸 司
〃 綾部市消防団	副団長	三三 安 達 正 行	〃 羽曳野市消防団	副団長	藤 田 岳 夫
〃 宮津市消防団	副団長	三三 上 山 正 也	〃 富田林市消防団	分団長	浅野 貞和
〃 京都市西京消防団	副団長	三三 岡 本 真 弘	〃 太子町消防団	分団長	植 村 秀彦
〃 京都市左京消防団	副団長	三三 木 村 明 弘	〃 池田市消防団	分団長	大久保 彦夫
〃 京都市右京消防団	副団長	三三 中 野 弘 二	〃 河内町消防団	分団長	奥 野 保 夫
〃 長岡京市消防団	副団長	三三 田 村 守 二	〃 高槻市消防団	分団長	津 田 意 也
〃 京丹波町消防団	副団長	三三 長 澤 誠 一	〃 岬町消防団	分団長	坂 原 哲 也
〃 福知山市消防団	副団長	三三 西 畑 由 弘	〃 貝塚市消防団	分団長	佐々木 勇 一
〃 京都市東山消防団	副団長	三三 原 大 伸 吾	〃 吹田市消防団	分団長	田 中 三 和 男
〃 福知山市消防団	副団長	三三 大 野 晋 一	〃 富田林市消防団	分団長	田 中 巳 三 和 男
〃 京都市伏見消防団	分団長	三三 菅 野 晋 一	〃 豊中市消防団	分団長	田 中 進 男

都道府県名 所属	階 級	氏 名	都道府県名 所属	階 級	氏 名
大阪府 大阪狭山市消防団	分団長	三三 山 輝 章	兵庫県 神戸市北消防団	副団長	流 田 時 夫
〃 堺市美原消防団	分団長	三三 中 尾 和 一	〃 洲本市消防団	副団長	西 田 泰 典
〃 枚方市消防団	分団長	三三 森 井 隆 隆	〃 加古川市消防団	副団長	藤 本 泰 隆
〃 島本町消防団	分団長	三三 森 渡 邊 勉	〃 神戸市中央消防団	副団長	平 井 俊 之
〃 高槻市消防団	副分団長	三三 須 河 裕 一	〃 淡路市消防団	副団長	平 岡 泰 正
〃 河内長野市消防団	副分団長	三三 須 田 昌 良	〃 淡路市消防団	副団長	南 卓 見
〃 茨木市消防団	副分団長	三三 水 直 行	〃 丹波市消防団	副団長	安 井 明 彦
〃 松原市消防団	副分団長	三三 吉 田 一 敬	〃 姫路市家島町消防団	副団長	吉 本 藤 正
〃 守口市消防団	部 長	三三 庭 田 一 巖	〃 神戸市灘消防団	副団長	湯 浅 治 行
〃 寝屋川市消防団	班 長	三三 中 尾 義 一	〃 加東市消防団	副団長	吉 本 秀 樹
〃 摂津市消防団	団 員	三三 麻 田 治 一	〃 姫路市姫路東消防団	分団長	宇 田 典 男
〃 箕面市消防団	団 員	三三 岡 田 与 一	〃 相生市消防団	分団長	梅 田 成 公
〃 寝屋川市消防団	団 員	三三 喜 多 豊	〃 宝塚市消防団	分団長	梅 田 成 公
〃 寝屋川市消防団	団 員	三三 久 川 勝 二	〃 赤穂市消防団	分団長	大 西 道 義
〃 箕面市消防団	団 員	三三 住 達 也	〃 尼崎市消防団	分団長	小 原 光 司
〃 島本町消防団	団 員	三三 小 林 和 夫	〃 姫路市姫路西消防団	分団長	北 澤 真 一
〃 四條畷市消防団	団 員	三三 樋 口 善 信	〃 尼崎市消防団	分団長	小 山 次 一
兵庫県 南あわじ市消防団	団 長	三三 榎 本 一 博	〃 西宮市消防団	分団長	佐 藤 修 一
〃 豊岡市竹野消防団	副団長	三三 大 野 伸 治	〃 養父市消防団	分団長	城 下 幸 雄
〃 西宮市消防団	副団長	三三 眞 村 一 浩	〃 香美町消防団	分団長	田 中 公 勉
〃 宍粟市消防団	副団長	三三 吉 野 正 男	〃 姫路市飾磨消防団	分団長	田 中 公 勉
〃 芦屋市消防団	副団長	三三 岸 野 雅 信	〃 尼崎市消防団	分団長	田 中 治 治
〃 神戸市西消防団	副団長	三三 小 池 信 男	〃 香美町消防団	分団長	長 岡 文 雄
〃 朝来市消防団	副団長	三三 嵯 峨 山 利 彦	〃 三田市消防団	分団長	中 田 文 雄
〃 豊岡市竹野消防団	副団長	三三 杉 垣 明 彦	〃 西宮市消防団	分団長	中 田 文 雄
〃 豊岡市出石消防団	副団長	三三 中 嶋 勝 己	〃 養父市消防団	分団長	西 谷 夫 夫

都道府県名 所 属	階 級	氏 名	都道府県名 所 属	階 級	氏 名
兵庫県 猪名川町消防団	分団長	野 万也	奈良県 大淀町消防団	副団長	藤原 達司
〃 相生市消防団	分団長	松原 司	〃 下市町消防団	副団長	藤岡 弘隆
〃 小野市消防団	分団長	松原 剛	〃 御所市消防団	副団長	花岡 俊行
〃 高砂市消防団	分団長	三村 一三	〃 宇陀市消防団	副団長	向井 浩郎
〃 新温泉町消防団	分団長	菅崎 草部	〃 天理市消防団	副団長	吉井 利正
〃 加古川市消防団	分団長	菅水 草部	〃 大和郡山市消防団	分団長	小南 正義
〃 高砂市消防団	分団長	三好 啓浩	〃 十津川村消防団	分団長	三好 俊一
〃 養父市消防団	分団長	村上 隆浩	〃 上北山村消防団	団員	三平 孝一
〃 淡路市消防団	分団長	山本 洋行	和歌山県 高野町消防団	団員	山本 雅一
〃 赤穂市消防団	分団長	山頼 祥行	〃 上富田町消防団	副団長	射野 成
〃 明石市消防団	副分団長	平林 敏夫	〃 和歌山市消防団	副団長	沖野 守
〃 明石市消防団	副分団長	山崎 雄史	〃 日高川町消防団	副団長	野智 昭
〃 川西市消防団	団員	加藤 万豊	〃 串本町消防団	副団長	関戸 次
〃 川西市消防団	団員	山田 仁三	〃 日高町消防団	副団長	関戸 次
〃 伊丹市消防団	団員	増田 平	〃 白浜町消防団	副団長	中西 人良
〃 三木市消防団	団員	安井 治	〃 かつらぎ町消防団	副団長	中西 人良
〃 太子町消防団	団員	安山 弘	〃 白浜町消防団	副団長	廣本 副
奈良県 奈良市消防団	団長	川野 信	〃 和歌山市消防団	副団長	前田 宏
〃 黒滝村消防団	団長	中井 一郎	〃 御坊市消防団	分団長	瓜田 秀義
〃 王寺町消防団	団長	西谷 義友	〃 串本町消防団	分団長	瓜田 義友
〃 川西市消防団	団長	松本 剛也	〃 日高川町消防団	分団長	玉置 治
〃 東吉野村消防団	副団長	上田 哲也	〃 橋本市消防団	分団長	津本 嘉彦
〃 高取町消防団	副団長	大野 和善	〃 串本町消防団	分団長	津本 多
〃 平群町消防団	副団長	岡田 雅行	〃 橋本市消防団	分団長	津本 久
〃 五條市消防団	副団長	川口 健	〃 紀美野町消防団	団員	西浦 佳典
〃 大和高田市消防団	副団長	小林 秀光	鳥取県 八頭町消防団	副団長	西浦 佳典
鳥取県 北栄町消防団	副団長	石井 通人	鳥根県 浜田市消防団	分団長	加野 幹雄
〃 鳥取市消防団	副団長	今崎 幸幸	〃 美郷町消防団	分団長	大桐 伸昭
〃 伯耆町消防団	副団長	遠藤 前上	〃 浜田市消防団	分団長	藤岡 利
〃 琴浦町消防団	副団長	野間 世治	〃 邑南町消防団	分団長	藤岡 義
〃 八頭町消防団	副団長	矢部 雅彦	〃 浜田市消防団	分団長	倉見 利美
〃 湯梨浜町消防団	分団長	糸見 正春	〃 邑南町消防団	分団長	砂田 文
〃 米子市消防団	分団長	澤口 典夫	〃 益田市消防団	分団長	竹内 辰徳
〃 米子市消防団	分団長	伊達 厚美	〃 益田市消防団	分団長	田中 孝
〃 日野町消防団	分団長	戸野 雅亨	〃 浜田市消防団	分団長	田中 雅
〃 大山町消防団	分団長	藤岡 平	〃 益田市消防団	分団長	岡田 敬二
〃 八頭町消防団	分団長	中村 勝徳	〃 松江市消防団	分団長	長瀬 正家
〃 米子市消防団	分団長	吹野 悦郎	〃 大田市消防団	分団長	松本 清弘
〃 伯耆町消防団	分団長	山本 芳史	〃 津和野町消防団	分団長	山本 幸
鳥根県 隠岐の島町消防団	団長	村田 正弘	〃 浜田市消防団	分団長	山本 修
〃 大田市消防団	副団長	藤原 勇	岡山県 高梁市消防団	副団長	江草 孝一
〃 益田市消防団	副団長	桐保 勇	〃 和気町消防団	副団長	小笠原 良
〃 出雲市消防団	副団長	三原 基	〃 西粟倉村消防団	副団長	金田 徳
〃 安来市消防団	副団長	三原 徹	〃 里庄町消防団	副団長	金川 崎
〃 飯南町消防団	副団長	深石 賢一	〃 笠岡市消防団	副団長	佐藤 伸吾
〃 松江市消防団	副団長	三石 正一	〃 岡山市消防団	副団長	三石 志
〃 出雲市消防団	副団長	三原 敬一	〃 備前市消防団	副団長	三石 丈夫
〃 雲南市消防団	副団長	安井 淳	〃 岡山市消防団	副団長	藤原 樹
〃 雲南市消防団	副団長	渡部 世津夫	〃 津山市消防団	分団長	藤原 信
〃 安来市消防団	副団長	渡部 隆	〃 赤磐市消防団	分団長	石井 井
〃 浜田市消防団	分団長	岩本 秀行	〃 総社市消防団	分団長	石井 徳
〃 益田市消防団	分団長	大貫 進	〃 吉備中央町消防団	分団長	石井 徳

都道府県名 所属	階 級	氏 名	都道府県名 所属	階 級	氏 名
岡山県 新見市消防団	分団長	石 田 實 (いしだ じつ)	岡山県 吉備中央町消防団	分団長	田 中 康 (たなか こう)
〃 赤磐市消防団	分団長	石 本 彦 (いしもと ひこ)	〃 浅口市消防団	分団長	岡 井 信 (おかい しん)
〃 岡山市消防団	分団長	板 野 幹 (いたの かん)	〃 岡山市消防団	分団長	富 岡 龍 夫 (とみおか りゆうお)
〃 岡山市消防団	分団長	井 上 伸 (いのうえ しのぶ)	〃 津山市消防団	分団長	中 司 知 (なかのじ ちか)
〃 久米南町消防団	分団長	遠 藤 憲 (とよふぢい けん)	〃 真庭市消防団	分団長	南 津 祐 治 (なみのつ ゆうぢ)
〃 高梁市消防団	分団長	大 田 博 信 (おほのたけ ひろのぶ)	〃 美咲町消防団	分団長	西 村 人 人 (にしむら ひとひと)
〃 奈義町消防団	分団長	岡 崎 前 明 (おかざき まへあき)	〃 津山市消防団	分団長	岡 本 人 二 (おかもと ひとに)
〃 岡山市消防団	分団長	岡 崎 己 佐 雄 (おかざき ことすけ)	〃 総社市消防団	分団長	橋 本 敬 (はしもと けい)
〃 津山市消防団	分団長	岡 室 行 博 (おかむろ ゆきひろ)	〃 備前市消防団	分団長	廣 畑 幹 介 (ひろはた かんすけ)
〃 岡山市消防団	分団長	小 川 雅 男 (こがわ まさお)	〃 玉野市消防団	分団長	廣 畑 幸 司 (ひろはた さいし)
〃 倉敷市消防団	分団長	小 川 雅 男 (こがわ まさお)	〃 美咲町消防団	分団長	福 田 幸 司 (ふくだ さいし)
〃 倉敷市消防団	分団長	小 野 和 男 (このの かつお)	〃 瀬戸内市消防団	分団長	藤 田 昭 平 (ふじのたけ てるひら)
〃 瀬戸内市消防団	分団長	尾 上 昭 剛 (おの上 てるごう)	〃 岡山市消防団	分団長	前 田 亨 (まへだ じょう)
〃 鏡野町消防団	分団長	片 道 弘 夫 (かたみち ひろお)	〃 真庭市消防団	分団長	前 田 基 三 (まへだ きちぞう)
〃 真庭市消防団	分団長	神 庭 伊 三 夫 (かみぢま いさお)	〃 倉敷市消防団	分団長	松 本 年 弘 (まつもと ねひろ)
〃 和気町消防団	分団長	菊 井 隆 彦 (きくい たかひこ)	〃 岡山市消防団	分団長	松 本 年 弘 (まつもと ねひろ)
〃 倉敷市消防団	分団長	夜 木 昭 彦 (よぎ てるひこ)	〃 真庭市消防団	分団長	丸 尾 英 治 (まるお へいぢ)
〃 美咲町消防団	分団長	澤 光 政 (さわ ひろまさ)	〃 久米南町消防団	分団長	丸 尾 英 治 (まるお へいぢ)
〃 真庭市消防団	分団長	高 政 幸 (たかまさ さいち)	〃 笠岡市消防団	分団長	森 和 屋 澄 (もりわかつみ しみず)
〃 浅口市消防団	分団長	清 水 良 治 (しみず りょうぢ)	〃 岡山市消防団	分団長	守 谷 眞 知 男 (まもりや まさちかお)
〃 美作市消防団	分団長	新 免 仁 憲 (にいん ねん)	〃 岡山市消防団	分団長	山 神 勇 (やまがみ ゆう)
〃 備前市消防団	分団長	末 廣 孝 学 (すえひろ けいがく)	〃 美咲町消防団	分団長	山 崎 勇 一 (やまざき ゆういち)
〃 鏡野町消防団	分団長	杉 本 博 文 (すぎもと ひろふみ)	〃 総社市消防団	分団長	山 崎 磨 (やまざき とも)
〃 吉備中央町消防団	分団長	露 木 茂 彦 (ろぎ 茂彦)	〃 真庭市消防団	分団長	山 谷 弘 孝 (やまや ひろたか)
〃 津山市消防団	分団長	高 柳 一 久 (たかやなぎ いく)	〃 笠岡市消防団	副分団長	伊 藤 孝 生 (いとう けいせい)
〃 津山市消防団	分団長	外 田 芳 久 (ほかのた よしひさ)	〃 津山市消防団	副分団長	岡 本 明 (おかもと てる)

都道府県名 所属	階 級	氏 名	都道府県名 所属	階 級	氏 名
岡山県 新見市消防団	副分団長	岡 崎 訓 (おかざき 訓)	広島県 尾道市消防団	副団長	村 上 勝 剛 (むらかみ かつごう)
〃 真庭市消防団	副分団長	岡 崎 隆 吉 (おかざき たかよし)	〃 安芸高田市消防団	副団長	山 本 浩 司 (やまもと 浩司)
〃 倉敷市消防団	副分団長	片 道 省 三 (かたみち しょうぞう)	〃 広島市東消防団	分団長	井 手 野 下 義 教 (いでの のりたけ)
〃 新見市消防団	副分団長	吉 川 元 見 (よしかわ げんみ)	〃 東広島市消防団	分団長	上 島 寿 彦 (かみじま じゆん)
〃 備前市消防団	副分団長	貞 友 昌 勝 (さかやま ともあき)	〃 廿日市市消防団	分団長	胡 芳 彦 (こ ほうげん)
〃 久米南町消防団	副分団長	直 木 広 巳 (なほき ひろみ)	〃 府中市消防団	分団長	大 瀬 戸 裕 裕 (おほせの ひろひろ)
〃 真庭市消防団	副分団長	多 久 尚 治 (たかなが しょうぢ)	〃 三次市消防団	分団長	大 谷 善 孝 (おほや ぜんこう)
〃 美作市消防団	副分団長	竹 内 利 一 (たけうち きちいち)	〃 呉市消防団	分団長	藤 田 基 三 (ふじのたけ きちぞう)
〃 倉敷市消防団	副分団長	中 西 公 仁 (なかにし こうに)	〃 江田島市消防団	分団長	加 島 俊 一 (かしま としいち)
〃 津山市消防団	副分団長	水 越 隆 徳 (みづこし たかのり)	〃 三原市消防団	分団長	上 代 賢 一 (かみしろ けんいち)
〃 備前市消防団	副分団長	西 上 徳 一 (にしがみ ともいち)	〃 呉市消防団	分団長	久 留 島 忠 康 (くろしま ちゅうこう)
〃 赤磐市消防団	副分団長	服 部 利 通 (はくべ けんとう)	〃 大竹市消防団	分団長	小 出 茂 彦 (こいで 茂彦)
〃 津山市消防団	副分団長	藤 田 章 浩 (ふじのたけ しょうこう)	〃 広島市安芸消防団	分団長	小 藤 賢 博 (こふじ けんひろ)
〃 新見市消防団	副分団長	船 越 二 郎 (ふねこし じろ)	〃 神石高原町消防団	分団長	佐 藤 仁 史 (さとう ひとし)
〃 真庭市消防団	副分団長	山口 知 昭 (やまぐち ちかあき)	〃 広島市西消防団	分団長	高 木 水 昭 (たかき みずあき)
〃 新見市消防団	副分団長	山 本 英 治 (やまもと へいぢ)	〃 神石高原町消防団	分団長	高 木 村 哲 郎 (たかき むら ともぢろ)
〃 津山市消防団	副分団長	吉 田 文 俊 (よしかの ぶんしゅん)	〃 三原市消防団	分団長	友 田 良 晃 (ともた 良晃)
広島県 福山市消防団	団長	延 近 敬 弘 (のびちか けいこう)	〃 北広島町消防団	分団長	仲 川 雅 利 (なかつがわ まさとし)
〃 庄原市消防団	副団長	荒 木 伸 一 (あらいき しのぶ)	〃 東広島市消防団	分団長	仲 川 修 二 (なかつがわ しのぶ)
〃 尾道市消防団	副団長	太 田 泰 嗣 (おほのたけ たいすけ)	〃 廿日市市消防団	分団長	中 野 英 俊 (なかの へいしゅん)
〃 庄原市消防団	副団長	依 木 聖 一 (よき せいいち)	〃 広島市安芸消防団	分団長	中 野 英 俊 (なかの へいしゅん)
〃 呉市消防団	副団長	大 道 正 孝 (おほみち せいこう)	〃 三原市消防団	分団長	中 村 泰 清 (なかむら たいせい)
〃 尾道市消防団	副団長	竹 田 昭 治 (たけのたけ しょうぢ)	〃 東広島市消防団	分団長	鳴 川 護 三 (なるがわ 護三)
〃 福山市消防団	副団長	箱 田 照 治 (はこだて てるぢ)	〃 坂町消防団	分団長	西 谷 修 治 (にしや しゅぢ)
〃 大竹市消防団	副団長	廣 井 英 治 (ひろい へいぢ)	〃 江田島市消防団	分団長	西 谷 修 治 (にしや しゅぢ)
〃 庄原市消防団	副団長	福 島 豊 彦 (ふくしま ほうげん)	〃 三原市消防団	分団長	藤 川 敏 和 (ふじがわ びんわ)

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
広島県	東広島市消防団	分団長	古川 晃	広島県	広島市中消防団	部長	山本 勝美
〃	東広島市消防団	分団長	細川 信	〃	広島市中消防団	部長	吉田 義典
〃	呉市消防団	分団長	堀本 巧	〃	三次市消防団	班長	伊達 潤一
〃	福山市消防団	分団長	川高 曉	〃	三次市消防団	団員	出羽 則章
〃	廿日市市消防団	分団長	松原 之志	〃	安芸太田町消防団	団員	大加藤 力
〃	広島市南消防団	分団長	松原 廣	〃	熊野町消防団	団員	加藤 康
〃	安芸高田市消防団	分団長	的場 正清	〃	安芸太田町消防団	団員	中平 弘修
〃	東広島市消防団	分団長	村上 正	〃	三次市消防団	団員	中平 林
〃	広島市佐伯消防団	分団長	森垣 眞	〃	府中市消防団	団員	原吉 克武
〃	安芸高田市消防団	分団長	森行 眞徳	〃	三次市消防団	団員	原光 武
〃	呉市消防団	副分団長	上條 増	〃	安芸太田町消防団	団員	横高 富
〃	江田島市消防団	副分団長	上野 美	山口県	周防大島町消防団	団長	中野 志
〃	江田島市消防団	副分団長	鎌田 哲彰	〃	周防大島町消防団	副団長	志利 美
〃	広島市安芸消防団	副分団長	川崎 剛	〃	宇部市消防団	副団長	志賀 光
〃	呉市消防団	副分団長	新谷 信	〃	萩市消防団	副団長	田部 勇
〃	呉市消防団	副分団長	友岡 宗	〃	岩国市消防団	副団長	鶴田 信夫
〃	広島市西消防団	副分団長	原田 敏明	〃	下関市消防団	副団長	戸澤 夫
〃	三原市消防団	副分団長	藤井 博朗	〃	宇部市消防団	副団長	長井 明
〃	呉市消防団	副分団長	藤田 博	〃	周防大島町消防団	副団長	中野 義明
〃	呉市消防団	副分団長	藤宮 則行	〃	下関市消防団	副団長	中野 義
〃	広島市東消防団	副分団長	村田 夫	〃	周防大島町消防団	副団長	原井 雄
〃	竹原市消防団	副分団長	山元 順	〃	周南市消防団	副団長	福田 行
〃	呉市消防団	副分団長	山本 雄	〃	岩国市消防団	副団長	宮本 義彰
〃	広島市安佐北消防団	部長	佐々木 幸	〃	長門市消防団	副団長	宮本 義彰
〃	広島市安佐南消防団	部長	佐々木 正	〃	周南市消防団	副団長	守田 彰
〃	広島市中消防団	部長	宮森 進	〃	山口市消防団	分団長	阿部 豊

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
山口県	萩市消防団	分団長	岡 弘	山口県	田布施町消防団	部長	坂本 彦彦
〃	岩国市消防団	分団長	兼城 通安	〃	美祿市消防団	部長	白石 登
〃	萩市消防団	分団長	防由 茂夫	〃	上関町消防団	班長	福永 人
〃	阿武町消防団	分団長	防末 勝次	〃	上関町消防団	団員	河津 美
〃	山口市消防団	分団長	中野 康世	徳島県	三好市山城町消防団	団員	河津 敏
〃	光市消防団	分団長	中山 忠	〃	三好市西祖谷消防団	副団長	成平 幸
〃	萩市消防団	分団長	西村 和	〃	鳴門市消防団	副団長	成平 司
〃	山口市消防団	分団長	野村 治	〃	三好市池田町消防団	副団長	金子 司
〃	長門市消防団	分団長	野村 俊昭	〃	吉野川市消防団	副団長	金子 多
〃	美祿市消防団	分団長	野村 英	〃	阿南市消防団	副団長	佐藤 隆
〃	柳井市消防団	分団長	丸田 逸雄	〃	三好市井川町消防団	副団長	谷村 宏
〃	防府市消防団	分団長	水野 俊仁	〃	阿波市消防団	副団長	谷村 己
〃	山口市消防団	分団長	宮文 夫	〃	鳴門市消防団	副団長	林 宏
〃	岩国市消防団	分団長	向原 一芳	〃	美馬西部消防組合消防団	副団長	福田 是
〃	下松市消防団	分団長	村上 里明	〃	那賀町消防団	副団長	宮田 剛
〃	阿武町消防団	分団長	村茂 達美	〃	神山町消防団	分団長	宮田 美行
〃	光市消防団	分団長	森本 俊夫	〃	徳島市消防団	分団長	宮田 修
〃	美祿市消防団	分団長	柳瀬 俊二	〃	牟岐町消防団	分団長	木下 義夫
〃	山陽小野田市消防団	分団長	山中 弘人	〃	徳島市消防団	分団長	木村 義
〃	光市消防団	分団長	山本 順次	〃	徳島市消防団	分団長	小谷 昇
〃	防府市消防団	分団長	吉村 一馬	〃	海陽町消防団	分団長	小富 久
〃	山陽小野田市消防団	分団長	吉村 孝	〃	美馬市消防団	分団長	中野 久
〃	萩市消防団	分団長	吉村 泰	〃	海陽町消防団	分団長	中野 三
〃	山陽小野田市消防団	副分団長	高橋 雄	〃	阿南市消防団	分団長	中西 三
〃	平生町消防団	副分団長	廣本 敏	〃	阿南市消防団	分団長	西内 三
〃	長門市消防団	副分団長	光水 徹	〃	美馬市消防団	分団長	西内 公

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
徳島県 美馬市消防団	分団長	松家 貞夫	香川県 丸亀市消防団	分団長	都築 隆
〃 海陽町消防団	分団長	宮林 俊雄	〃 高松市消防団	分団長	中井 一郎
〃 美波町消防団	副分団長	坂口 進	〃 坂出市消防団	分団長	中浜 崎勝
〃 板野町消防団	団員	齋藤 茂之	〃 綾川町消防団	分団長	松尾 行康
〃 勝浦町消防団	団員	定作 登之	〃 まんのう町消防団	分団長	宮松 正則
〃 美馬西部消防組合消防団	団員	立道 政吉	〃 高松市消防団	分団長	吉村 正則
香川県 さぬき市消防団	団長	石川 孝義	〃 高松市消防団	分団長	飯塚 正平
〃 丸亀市消防団	副団長	五百森 信幸	愛媛県 今治市消防団	副団長	秋山 實
〃 観音寺市消防団	副団長	大野 登	〃 宇和島市消防団	副団長	浅井 康之
〃 三豊市消防団	副団長	大田 直士	〃 西予市消防団	副団長	池田 昌隆
〃 東かがわ市消防団	副団長	小山 次郎	〃 今治市消防団	副団長	片山 能克
〃 多度津町消防団	副団長	竹村 正知	〃 砥部町消防団	副団長	佐川 照福
〃 直島町消防団	副団長	手塚 浩	〃 今治市消防団	副団長	白箱 志雄
〃 丸亀市消防団	副団長	平澤 秀介	〃 久万高原町消防団	副団長	内尾 光生
〃 さぬき市消防団	副団長	藤田 輝英	〃 愛南町消防団	副団長	長瀬 和明
〃 宇多津町消防団	副団長	松村 栄一	〃 内子町消防団	副団長	西本 和
〃 高松市消防団	副団長	山下 勲	〃 鬼北町消防団	副団長	宮本 清
〃 土庄町消防団	副団長	山本 昇	〃 西条市消防団	副団長	平塚 昌郁
〃 三豊市消防団	分団長	宇野 仁夫	〃 八幡浜市消防団	副団長	正藤 展
〃 丸亀市消防団	副団長	大西 邦夫	〃 今治市消防団	副団長	正藤 剛要
〃 さぬき市消防団	分団長	大西 正	〃 大洲市消防団	副団長	村上 春也
〃 高松市消防団	分団長	加藤 一男	〃 今治市消防団	副団長	矢野 伸也
〃 小豆島町消防団	分団長	久留島 賢一	〃 西予市消防団	副団長	山本 重吉
〃 高松市消防団	分団長	遠藤 幸雄	〃 今治市消防団	副団長	山本 浩喜
〃 三豊市消防団	分団長	竹内 幸雄	〃 大洲市消防団	副団長	山本 喜久
〃 高松市消防団	分団長	佃 光廣	〃 大洲市消防団	副団長	渡部 和久
愛媛県 松山市消防団	分団長	一色 文雄	愛媛県 久万高原町消防団	部長	若木 俊明
〃 松山市消防団	分団長	上田 頼幸	〃 今治市消防団	部長	中野 武繁
〃 松前町消防団	分団長	大川 謙	〃 上島町消防団	部長	松本 敏和
〃 上島町消防団	分団長	大亀 山秀夫	〃 伊方町消防団	班長	清家 敏彦
〃 東温市消防団	分団長	久保 重英	〃 久万高原町消防団	班長	石本 満幸
〃 伊予市消防団	分団長	菅原 保重	〃 久万高原町消防団	団員	石川 正吉
〃 四国中央市消防団	分団長	菅原 定秀	〃 松前町消防団	団員	一色 正人
〃 西予市消防団	分団長	山下 拓夫	〃 鬼北町消防団	団員	上田 清司
〃 四国中央市消防団	分団長	玉井 秀宣	〃 上島町消防団	団員	菅原 謙二
〃 松野町消防団	分団長	綱崎 功一	〃 西予市消防団	団員	若々木 仁
〃 鬼北町消防団	分団長	戸田 功一	〃 久万高原町消防団	団員	佐々木 英明
〃 西条市消防団	分団長	豊田 祐司	〃 久万高原町消防団	団員	中野 夫
〃 今治市消防団	分団長	水野 英一	〃 伊方町消防団	団員	中野 治
〃 松前町消防団	分団長	日野 徹	〃 四国中央市消防団	団員	山本 正廣
〃 松山市消防団	分団長	三上 宗利	〃 伊予市消防団	団員	脇谷 俊
〃 内子町消防団	分団長	三宮 邦夫	〃 四国中央市消防団	団員	脇谷 斗志也
〃 松山市消防団	分団長	山崎 誠治	高知県 宿毛市消防団	副団長	若本 公一
〃 松山市消防団	分団長	山田 久雄	〃 中芸広域連合田野町消防団	副団長	若本 喜
〃 松前町消防団	分団長	山崎 融	〃 本山町消防団	副団長	前田 彦彦
〃 松山市消防団	分団長	横井 正至	〃 越知町消防団	副団長	松本 邦夫
〃 大洲市消防団	副分団長	有友 章治	〃 いの町消防団	副団長	山本 靖一
〃 四国中央市消防団	副分団長	施藤 高志	〃 土佐市消防団	副団長	山本 弘
〃 新居浜市消防団	副分団長	砂田 守	〃 大豊町消防団	分団長	猪野 次
〃 新居浜市消防団	副分団長	筒井 衛	〃 安芸市消防団	分団長	尾木 満
〃 新居浜市消防団	副分団長	田正 彦	〃 仁淀川町消防団	分団長	松本 善夫
〃 上島町消防団	副分団長	益本 三郎	〃 四万十市消防団	分団長	村上 伸郎

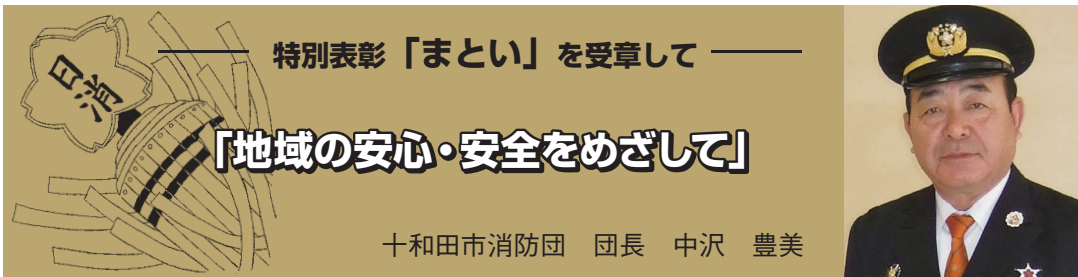
都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
高知県	大月町消防団	分団長	黒田朝男	福岡県	福岡市早良消防団	分団長	石橋龍次
〃	中芸広域連合奈半町消防団	分団長	坂本年男	〃	みやこ町消防団	分団長	石橋山正
〃	高幡消防組合須崎消防団	分団長	藤岡啓助	〃	添田町消防団	分団長	石野正人
〃	高幡消防組合中土佐消防団	分団長	藤元敏道	〃	宮若市消防団	分団長	野野生吉
〃	高幡消防組合津野消防団	分団長	高下好和	〃	北九州市八幡西消防団	分団長	瓜生文彦
〃	香南市野市消防団	分団長	武内重雄	〃	福岡市水上消防団	分団長	大南邦雄
〃	佐川町消防団	分団長	由利重富	〃	北九州市小倉南消防団	分団長	大岡徳積
〃	室戸市消防団	分団長	濱津重修	〃	田川市消防団	分団長	小川山正
〃	いの町消防団	分団長	濱浦満一	〃	福岡市東消防団	分団長	小加治博三
〃	高知市消防団	分団長	福井雅一	〃	田川市消防団	分団長	小加治博三
〃	高幡消防組合四万十消防団	分団長	森田健二	〃	川崎町消防団	分団長	上條秀男
〃	香美市消防団	分団長	山地正明	〃	直方市消防団	分団長	河野秀幸
〃	東洋町消防団	班長	奈良崎公一	〃	久留米市消防団	分団長	合野滋
〃	日高村消防団	団員	吉野政司	〃	大任町早良消防団	分団長	清水和行
福岡県	東峰村消防団	団長	小野政司	〃	福岡市早良消防団	分団長	清水昭二
〃	吉富町消防団	団長	小横清一	〃	中間市消防団	分団長	清水主美
〃	宗像市消防団	団長	吉武大作	〃	飯塚市消防団	分団長	白田一郎
〃	大川市消防団	副団長	今村和之	〃	福岡市早良消防団	分団長	田口佐和
〃	大牟田市消防団	副団長	木下康夫	〃	福岡市南消防団	分団長	富田武広
〃	豊前市消防団	副団長	西澤康夫	〃	大牟田市消防団	分団長	島秀昭
〃	八女市黒木消防団	副団長	原博一	〃	築上町消防団	分団長	水野隆信
〃	北九州市門司消防団	副団長	松田伸美	〃	みやこ町消防団	分団長	水田祐
〃	福岡市博多消防団	分団長	天野和朗	〃	北九州市小倉北消防団	分団長	西田洋介
〃	赤村消防団	分団長	荒井健二	〃	豊前市消防団	分団長	西田洋介
〃	福岡市水上消防団	分団長	石橋利晴	〃	飯塚市消防団	分団長	西田洋介
〃	久留米市消防団	分団長	石橋利晴				
福岡県	田川市消防団	分団長	平塚勇一	佐賀県	佐賀市消防団	分団長	池田忠司
〃	福岡市西消防団	分団長	福田孝明	〃	唐津市消防団	分団長	池田美
〃	宮若市消防団	分団長	藤崎茂治	〃	唐津市消防団	分団長	清原誠
〃	北九州市若松消防団	分団長	藤前英夫	〃	唐津市消防団	分団長	清原誠
〃	嘉麻市消防団	分団長	藤益義昭	〃	太良町消防団	分団長	大石博保
〃	福岡市中央消防団	分団長	松永富二	〃	佐賀市消防団	分団長	大塚勝彦
〃	桂川町消防団	分団長	三宅雅昭	〃	吉野ヶ里町消防団	分団長	北原和宏
〃	北九州市八幡東消防団	分団長	菅正文	〃	武雄市消防団	分団長	里本康治
〃	北九州市八幡西消防団	分団長	三善隆人	〃	伊万里市消防団	分団長	坂本徳治
〃	柳川市消防団	分団長	森山好孝	〃	神埼市消防団	分団長	重田代伸
〃	飯塚市消防団	分団長	山口貞徳	〃	有田町消防団	分団長	中村明文
〃	嘉麻市消防団	分団長	山下幸雄	〃	佐賀市消防団	分団長	中村明文
〃	香春町消防団	分団長	山田康宏	〃	白石町消防団	分団長	樋口喜
〃	北九州市門司消防団	副分団長	赤野敬一	〃	佐賀市消防団	分団長	福井義晴
〃	北九州市門司消防団	副分団長	荒谷實博	〃	佐賀市消防団	分団長	福井義晴
〃	小竹町消防団	副分団長	飯野和	〃	武雄市消防団	分団長	福地直樹
〃	飯塚市消防団	副分団長	井上茂	〃	みやき町消防団	分団長	馬都文男
〃	行橋市消防団	副分団長	城戸俊二	〃	佐賀市消防団	分団長	武藤久
〃	嘉麻市消防団	副分団長	福澤祐亮	〃	武雄市消防団	分団長	福澤清三
〃	行橋市消防団	副分団長	村山義直	〃	唐津市消防団	分団長	村崎政直
〃	上毛町消防団	部長	山本盛直	〃	鹿島市消防団	副分団長	倉崎政直
佐賀県	唐津市消防団	副団長	石田勝茂	〃	嬉野市消防団	副分団長	石川久洋
〃	唐津市消防団	副団長	小笠原一	〃	白石町消防団	副分団長	福田拓美
〃	唐津市消防団	副団長	川添秀幸	〃	みやき町消防団	副分団長	山直
〃	小城市消防団	副団長	川添秀幸	長崎県	長崎市消防団	副団長	相川直
〃	小城市消防団	副団長	川添秀幸	〃	西海市消防団	副団長	相川直

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
長崎県 雲仙市消防団	副団長	緒方 秀雄	長崎県 長崎市消防団	分団長	田中 則和
〃 対馬市消防団	副団長	車崎 昌夫	〃 平戸市消防団	分団長	水澤 日出男
〃 長崎市消防団	副団長	黒田 義夫	〃 長崎市消防団	分団長	橋本 耕一
〃 南島原市消防団	副団長	古賀 隆	〃 時津町消防団	分団長	演進 正久
〃 対馬市消防団	副団長	瀬崎 幹隆	〃 佐世保市消防団	分団長	演進 田久隆
〃 長与町消防団	副団長	谷川 義浩	〃 平戸市消防団	分団長	演進 田勝
〃 長崎市消防団	副団長	島田 時治	〃 長崎市消防団	分団長	演進 井龍
〃 西海市消防団	副団長	水田 弘保	〃 佐々町消防団	分団長	松井 保孝
〃 志岐市消防団	副団長	中野 正記	〃 五島市消防団	分団長	日向 勇雄
〃 諫早市消防団	副団長	藤山 博	〃 東彼杵町消防団	分団長	村江 敏雄
〃 新上五島町消防団	副団長	前田 忠男	〃 新上五島町消防団	団員	小田 信郎
〃 川棚町消防団	副団長	三根 和善	〃 五島市消防団	団員	宮喜 延善
〃 新上五島町消防団	副団長	三宮 崎善	熊本県 合志市消防団	団長	中島 龍健
〃 対馬市消防団	副団長	柳田 昭徳	〃 菊池市消防団	副団長	荒木 新昇
〃 雲仙市消防団	副団長	岡直 昇一	〃 天草市消防団	副団長	荒野 孝徳
〃 長崎市消防団	分団長	荒木 勇次	〃 阿蘇市消防団	副団長	梅野 住一
〃 佐世保市消防団	分団長	岩勇 隆治	〃 天草市消防団	副団長	尾田 公生
〃 松浦市消防団	分団長	岩佐 宗憲	〃 天草市消防団	副団長	黒田 圭生
〃 長崎市消防団	分団長	小川 礼一郎	〃 八代市消防団	副団長	黒田 明
〃 五島市消防団	分団長	小田 宣治	〃 山江村消防団	副団長	志立 道徹
〃 佐世保市消防団	分団長	小川 政俊	〃 小国町消防団	副団長	時松 義一
〃 松浦市消防団	分団長	川原 盛人	〃 阿蘇市消防団	副団長	橋本 野政
〃 長崎市消防団	分団長	小口 成利	〃 天草市消防団	副団長	原田 清
〃 平戸市消防団	分団長	近藤 善男	〃 山鹿市消防団	副団長	原田 太博
〃 小値賀町消防団	分団長	崎山 善寿	〃 氷川町消防団	副団長	前田 博文
〃 大村市消防団	分団長	竹末 孝学	〃 宇城市消防団	副団長	矢澤 達也

都道府県名 所属	階級	氏名	都道府県名 所属	階級	氏名
熊本県 美里町消防団	副団長	結城 洋一	熊本県 芦北町消防団	分団長	元山 正徳
〃 御船町消防団	副団長	吉田 高之	〃 熊本市消防団	分団長	吉野 弘利
〃 山鹿市消防団	分団長	阿蘇 豆和	〃 熊本市消防団	副分団長	岡 勇博
〃 熊本市消防団	分団長	岩崎 浩一	〃 熊本市消防団	副分団長	織田 義博
〃 熊本市消防団	分団長	浦上 雄平	〃 熊本市消防団	副分団長	平田 高治
〃 熊本市消防団	分団長	天石 光晴	〃 熊本市消防団	副分団長	熊本 清
〃 山鹿市消防団	分団長	大天 誠也	〃 熊本市消防団	副分団長	米村 具
〃 八代市消防団	分団長	尾下 慎一	大分県 由布市消防団	団長	吉良 利武
〃 天草市消防団	分団長	川崎 康憲	〃 杵築市消防団	団長	藤原 勇郎
〃 高森町消防団	分団長	工藤 敏博	〃 竹田市消防団	副団長	足立 康成
〃 天草市消防団	副団長	黒川 寛幸	〃 佐伯市弥生消防団	副団長	五十川 富也
〃 熊本市消防団	分団長	古上 俊一	〃 宇佐市消防団	副団長	井本 裕明
〃 山鹿市消防団	分団長	後藤 啓介	〃 宇佐市消防団	副団長	衛藤 秀司
〃 熊本市消防団	分団長	佐土原 司	〃 玖珠町消防団	副団長	衛藤 幸吉
〃 八代市消防団	分団長	谷口 彦彦	〃 大分市消防団	副団長	中野 喜治
〃 相良村消防団	分団長	水本 健一	〃 中津市消防団	副団長	竹富 喜
〃 八代市消防団	分団長	那須 嘉一	〃 中津市消防団	副団長	西野 東
〃 熊本市消防団	分団長	西園 保次	〃 佐伯市佐伯消防団	副団長	矢野 俊治
〃 八代市消防団	分団長	畑中 宏文	〃 国東市消防団	副団長	矢野 誠治
〃 八代市消防団	分団長	藤田 清正	〃 佐伯市宇目消防団	副団長	矢野 治
〃 熊本市消防団	分団長	熊本 実夫	〃 大分市消防団	分団長	藤安 東一
〃 熊本市消防団	分団長	松尾 正	〃 宇佐市消防団	分団長	池上 伸二
〃 天草市消防団	分団長	松本 兼徳	〃 豊後高田市消防団	分団長	園村 哲生
〃 八代市消防団	分団長	水本 貴	〃 日田市消防団	分団長	江田 光
〃 天草市消防団	分団長	宮口 一徳	〃 宇佐市消防団	分団長	宮野 頼光
〃 山鹿市消防団	分団長	宮崎 公保	〃 宇佐市消防団	分団長	齋藤 文博

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
大分県	日田市消防団	分団長	佐藤 徳市	宮崎県	都城市消防団	副団長	山元 寿一
	〃 日田市消防団	分団長	高瀬 重光		〃 三股町消防団	副団長	吉原 敬一郎
	〃 日田市消防団	分団長	高立 花好		〃 宮崎市消防団	分団長	飯塚 貞夫
	〃 佐伯市蒲江消防団	分団長	栗木 龍治		〃 日之影町消防団	分団長	飯塚 千次
	〃 別府市消防団	分団長	中嶋 伸一郎		〃 高千穂町消防団	分団長	飯塚 尾秀
	〃 豊後高田市消防団	分団長	馬場 英明		〃 日之影町消防団	分団長	榎 常市
	〃 中津市消防団	分団長	久保 正伸		〃 日南市消防団	分団長	大田 龍幸
	〃 大分市消防団	分団長	野野 國治		〃 えびの市消防団	分団長	川野 野二
	〃 白杵市連合消防団 白杵消防団	副分団長	野野 澄夫		〃 小林市消防団	分団長	川野 雄幸
	〃 別府市消防団	副分団長	佐藤 藤通		〃 五ヶ瀬町消防団	分団長	興 樹藏
	〃 豊後高田市消防団	副分団長	山下 山通		〃 日南市消防団	分団長	谷口 慎二
	〃 佐伯市鶴見消防団	班長	阿部 俊一		〃 西都市消防団	分団長	幸次 敏行
	〃 中津市消防団	班長	林 信好		〃 都城市消防団	分団長	床次 勝彦
	〃 豊後大野市消防団	団員	小野 和夫		〃 美郷町消防団	分団長	川口 克彦
	〃 白杵市連合消防団 野津消防団	団員	甲斐 孝政		〃 宮崎市消防団	分団長	松元 克彦
	〃 白杵市連合消防団 野津消防団	団員	河野 法生		〃 延岡市消防団	分団長	相木 秀勝
	〃 津久見市消防団	団員	小町 富夫		〃 延岡市消防団	副分団長	工藤 祐弘
	〃 豊後大野市消防団	団員	高瀬 亨		〃 小林市消防団	副分団長	森田 文雄
	〃 中津市消防団	団員	橋原 信博		〃 中間市消防団	副分団長	山口 祥彦
	〃 津久見市消防団	団員	橋本 和博		〃 中間市消防団	副分団長	山田 下彦
宮崎県	五ヶ瀬町消防団	副団長	甲斐 伸一	〃 高鍋町消防団	部長	宇治橋 聖一	
	〃 日向市消防団	副団長	河野 幸久	〃 西米良村消防団	団員	小川 忠勝	
	〃 椎葉村消防団	副団長	椎葉 秀明	〃 垂水市消防団	団長	小川 福安	
	〃 綾町消防団	副団長	瀬口 通明	〃 曾於市消防団	副団長	戸川 昭文	
	〃 日向市消防団	副団長	帆足 武男	〃 始良市消防団	副団長	戸川 昭文	
	〃 都城市消防団	副団長	松崎 義明	〃 南九州市消防団	副団長	志々目 正一	

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名	
鹿児島県	霧島市消防団	副団長	下津曲 勝	鹿児島県	垂水市消防団	副分団長	吉崎 元保	
	〃 志布志市消防団	副団長	末村 光博		〃 南大隅町消防団	部長	坂口 康男	
	〃 指宿市消防団	副団長	由代 勇		〃 いちき串木野市消防団	部長	内倉 謙義	
	〃 さつま町消防団	副団長	長福 次美		〃 屋久島町消防団	班長	寺田 九州男	
	〃 伊佐市消防団	副団長	福崎 和美		〃 霧島市消防団	班長	沼田 重美	
	〃 鹿屋市消防団	副団長	福満 義洋		〃 垂水市消防団	班長	濱野 茂壽	
	〃 日置市消防団	副団長	三ツ石 純一		〃 出水市消防団	団員	田代 幸幸	
	〃 中種子町消防団	副団長	松元 清人		〃 屋久島町消防団	団員	松田 公男	
	〃 さつま町消防団	副団長	丸尾 省吾		〃 鹿児島市消防団	団員	藤田 健一	
	〃 出水市消防団	分団長	井上 信					
	〃 伊仙町消防団	分団長	内山 孝学					
	〃 肝付町消防団	分団長	榎屋 進					
	〃 鹿児島市消防団	分団長	草道 初己					
	〃 薩摩川内市消防団	分団長	苑川 託美					
	〃 霧島市消防団	分団長	田中 義一					
	〃 錦江町消防団	分団長	鳥渡 秋					
	〃 鹿児島市消防団	分団長	橋口 幸一					
	〃 鹿児島市消防団	分団長	英利 和					
	〃 大崎町消防団	分団長	福水 利雄					
	〃 伊佐市消防団	分団長	酒之上 俊典					
	〃 東串良町消防団	分団長	村吉 俊廣					
	〃 日置市消防団	分団長	諸正 博幸					
	〃 鹿児島市消防団	分団長	山本 純英					
	〃 鹿児島市消防団	分団長	渡邊 勝美					
	〃 いちき串木野市消防団	副分団長	楯 敏雄					
	〃 鹿児島市消防団	副分団長	志岐 隆文					



はじめに

平成26年2月28日、日本消防会館「ニッショーホール」において開催されました、第66回日本消防協会定例表彰式において、消防団として最高の荣誉である特別表彰「まとい」を拝受いたしました。

全国で2,200以上ある消防団の中から、十和田市消防団が受章できましたことは、我々消防団はもとより、十和田市民にとりましてもこの上ない荣誉であり喜びであります。

これもひとえに、市民の皆様への消防団に対するご理解とご協力の賜であると深く感謝申

し上げるとともに、永年にわたり地域の安心安全にご尽力いただいた諸先輩方の偉大な功績と、「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神・使命感を継承してきた団員一人ひとりの努力、さらにはその活動を陰で支えていただきましたご家族の皆様へ、心から厚くお礼申し上げます。

十和田市の紹介

十和田市は、面積約725km²、人口約6万4千人、青森県の東南部の内陸に位置し、西部は奥羽山脈の一部となる大岳、高田大岳などの八甲田連峰が広がり、西南端には青森県と秋田県にまたがる神秘の湖「十和田湖」（二重式カルデラ湖）、さらにこの湖を源泉とした千変万化の美しい流れを織りなす「奥入瀬溪流」があります。

当市は、新しい時代を切り拓くことができる、活力と魅力に満ち溢れる感動と創造を共有する「感動・創造都市」の実現を目指しており、整然と区画された街並みは、近代都市計画のルーツと言われ豊かな自然と近代的な都市機能の調和を一層際立たせるとともに、「日本の道百選」に選ばれた官庁街通り（駒街



観閲式「玉落とし競技」



観閲式操法訓練

道)は、日本有数の桜の名所として県内外から多くの観光客で賑わう観光名所となっております。

また、近年は、十和田市現代美術館を含む通り全体をひとつの美術館と見立て、多様なアート作品を展開するなど、世界的にも稀な取り組みにより注目を集めております。

十和田市消防団の沿革

十和田市消防団は、明治5年の三本木村火防組に始まり、消防組、警防団を経て、昭和22年に消防団として組織されました。

昭和48年12月にはラッパ隊を編成、その後平成17年1月1日には、旧十和田市と旧十和田湖町の1市1町の市町合併により、消防団組織を見直し現体制となっております。

現在は12分団、794名(うち女性消防団員18名)、消防ポンプ自動車33台、小型動力ポンプ積載車18台を配備している状況となっております。

十和田市消防団の主な活動

十和田市消防団は、災害活動はもとより、年間を通した定期的な訓練に加え、他の防災機関との連携訓練にも積極的に取り組んでおります。特に消防操法においては、平成18年、平成22年、平成24年と全国大会に出場する成果を挙げたことで、若い消防団員の士気高揚、そして消防団全体の団結に繋がっているものと思っております。

年間の主な活動としては、4月と9月に火



住警器普及活動



小山田市長に「まとい」受章報告

災予防運動に伴った消防署所との合同訓練、5月は大地震及び豪雨による土砂災害を想定した十和田市総合防災訓練、6月は新入団員を対象とした教育訓練、10月は関係機関と連携した山岳遭難救助訓練、11月は消防団員特別教育、12月は災害現場に潜む危険をテーマにした安全管理研修会など、市民の負託に応えることができるよう日頃から活発に活動しています。

また、1月には、高齢者世帯を対象とした住宅用火災警報器の配布及び設置事業へ女性消防団員が協力するなど、地域に密着した活動も実施しております。

おわりに

東日本大震災や近年全国各地で発生している自然災害など、私たちを取り巻く自然環境は刻々と変化しつつあります。今後も大地震・台風・局部的豪雨など、予測を超える災害の発生が予想される中、地域住民が私たちに寄せる期待は大きくなっているものと感じております。

あらゆる災害に対応できるよう日々訓練を重ね、住民の生命、身体、財産を守るという崇高な使命達成のために、団員一丸となり精進してまいります。

最後になりますが、栄誉ある受章にあたり格別のご高配を賜りました消防関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、皆様のますますのご発展、ご健勝をご祈念申し上げ、受章のお礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。



「地域防災の中心としての 消防団～おらっちゃが、 やらんにゃ 誰がやるがよ～」



立山町消防団 団長 高平 公嗣

1 立山町の紹介

立山町は、富山県南東部に位置し、町名の由来となった日本三霊山のひとつ霊峰立山を東に仰ぎ、富山湾まで一気に流れ下る、常願寺川の右岸沿いに広がる平野部と急峻な山岳地帯からなる人口2万7千人余の緑豊かな町です。

立山連峰を貫く立山黒部アルペンルート
の玄関口として、長野県大町市まで続く沿線
の景観は日本有数の大自然を残し、ラム
サール条約で認定された弥陀ヶ原の湿地帯
や日本で唯一存在が確認された氷河など、
自然の宝庫といわれています。

また、麓の芦峯寺地区は平安時代より山
岳信仰の地として立山曼荼羅を今に伝え、
日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来

遺産に登録された女人救済の布橋灌頂会な
どの催しも開かれています。

2 立山町消防団の概要

昭和29年、1町5村の合併により、立山
町消防団が9分団として発足し、新川村を
編入合併して10分団となり、途中、1団4
分団に改編されましたが、昭和56年に再び
10分団に改編され、団員定数は、平成7年
の条例改正により325名となり、現在に至
ります。

10分団すべてにCD-I型消防ポンプ自
動車を配備し、さらに山間部などには小型
ポンプ積載車を配備して、消火活動や火災
予防などにあたっています。



出初め式裸放水

3 立山町消防団の活動

立山町消防団の活動は、1月の消防出初め式の裸放水や市中パレード、一斉放水に始まり、国重要文化財の雄山神社前立社壇の防火訓練、3月、春の火災予防運動中の防火パレードと自主防災組織と合同の夜間訓練の実施、5月の消防団員訓練礼式研修会、6月の町消防団消防操法大会、10月の近隣町村合同消防訓練、11月、秋の火災予防運動中の防火パレードと住宅防火訪問など、年間を通して、防火・防災広報や消防訓練を実施し、精力的に活動しています。

災害現場での活動として、火災における消火活動、台風や集中豪雨における風水害への対応に即時対応できるよう日頃から機器の点検整備や取扱訓練を行ない出動に備えています。

管内は富山県内でも有数の豪雪地帯であり、雪害による出動も多く、昭和38年には雪害出動した団員の殉職事案が発生しており、その痛ましい教訓を忘れず、団員の安全教育にも力を入れています。



訓練礼式研修

4 おわりに

立山町消防団は、高齢化社会や限界集落などの社会状況や異常気象などの自然状況の変化に対応し、団員一丸となって地域住民の信頼と期待に応えるべく、地域防災の中心としての役割を自覚し、組織の充実強化を図り、防災力の向上を目指し、「おらっちゃんが、やらんにゃ 誰がやるがよ」を合い言葉に、自分たちの町は自分で守ることを決意し、これからも安全安心のまちづくりに貢献して参ります。



夜間業務訓練



「まち安心安全の都市 すいた吹田」 を目指して



吹田市消防団 団長 海原 明

1 吹田市の紹介

吹田市は、昭和15年4月1日に三島郡吹田町、千里村、岸部村、豊能郡豊津村の4町村が合併し誕生しました。その後、三島郡新田村の下新田地区と三島郡山田村を合併し現在の市域が確定され、大阪府の北部に位置し、南は大阪市、西は豊中市、北は箕面市、東は茨木市及び摂津市に接しており、東西6.3km、南北9.6km、面積36.11㎢を占めています。

地勢としては、北部は北摂山系を背景として標高20mから116mのなだらかな千里丘陵、南部は安威川、神崎川や淀川をつくる標高10mほどの低地から形成されています。

昭和40年には、万国博の開催地として決定し、地下鉄の延長が具体化。昭和45年には中国自動車道や名神高速道路吹田イン

ターが完成し交通体系が整備され、同年3月に開催された万国博では、6421万人の入場者を記録し吹田市の存在を大きくアピールすることができました。

また、本市では「吹田くわい」が特産で江戸時代から明治維新まで200年近くの間、京都御所へ献上されていました。献上行列には大名も道を譲ったと言われるほど権威があり、食通で有名な江戸の狂歌師・蜀山人（大田南畝）は「思いでる はも鱧の骨きりすり流し すいたくわいに 天王寺蕪」と詠んで懐かしんでいます。

2 吹田市消防団の概要

本市消防団は、昭和22年11月警防団を改称し、消防団を結団しました。

平成26年3月1日現在では、団本部・9分団・2班で構成され、ポンプ車10台（予



消防出初式 分列行進



消防出初式での一斉放水

備車1台含む)、小型動力ポンプ積載車2台、可搬式小型動力ポンプ10台を配備し、各車両には消防本部・常備車両と交信することのできる車載無線機及び携帯無線機・チェーンソーなどを装備し、大規模災害に対応できる組織を目指し日々訓練に励んでいます。

3 吹田市消防団の活動

平成25年中の本市における火災件数は64件で、延べ175分団1,417団員が火災出動しました。

本市消防団では、新春の消防出初式に始まり、消防団訓練計画を策定し各分団・各班単位での基本訓練はもとより、毎月管轄消防署との合同訓練や各小隊での連携訓練をはじめ、機械器具取扱訓練・放水訓練を実施するとともに、地元自主消火組織とも連携を図りながら大規模災害に備えています。

昨年夏季には、4ヶ月間に亘り小隊訓練を実施。8月に開催された(公財)大阪府消防協会三島地区支部総合訓練では、一糸乱れぬ規律ある行動を披露することが出来ました。本年にあって、支部代表としてポンプ車操法に出場することになっており、代表選手が全国大会に向け訓練に励んでいます。

また、機関員は元より全団員が交通事故防止のため、管轄警察署から講師をお招きし安全運転講習を受講したり、救急車到着までの間救命処置が実施できるよう普通救命講習を受講しています。

その他、春・秋季火災予防週間中や年末消防警備時には夜間巡回広報を実施し、放火や火の不始末を未然に防げるよう火災予防活動に従事しています。



三島地区支部総合訓練での小隊訓練

4 おわりに

東日本大震災以降、市民の防災への関心は高まり、我々消防団員の活動に期待が寄せられています。いつ起きるかわからない大規模災害に備え、全消防団員が地域防災の中核として活動し、防災に関する組織の教育訓練において指導的な役割を担っており、平成20年(2008年)3月14日には「安心安全の都市づくり」が都市宣言され、市民の皆さんが安心して暮らせる住みよい都市「吹田」の実現を目指して活動しています。

最後に、東日本大震災より3年が経ちました。現在も多くの方が、仮設住宅等での避難生活を送られているとお聞きします。皆様方の一時も早い生活再建を、心よりお祈り申し上げます。



水防工法訓練



「自分たちの地域は、
自分たちで守る。」



十日町市消防団 団長 富井 利明

1 十日町市の紹介

十日町市は、新潟県の西北部に位置し、日本一の大河信濃川が中央部を流れ、東側に苗場山を中心とする山岳地帯が連なる、中山間地域と河岸段丘が特徴の面積589.92km²、人口約59,000人の地域です。国立公園の指定を受ける清津峡や棚田など自然豊かな景勝地や日本三大薬湯の松之山温泉をはじめとして温泉も豊富な地域です。

昔からきものの生産地として栄え、雪ときものの祭典「十日町雪まつり」が開催されることでも知られています。コシヒカリの良質米の生産地として、農業も盛んです。

また、自然の中に現代アートが点在する「大地の芸術祭の里」でもあり、3年に1度開催される「アートトリエンナーレ」には、多くの観光客で賑わいます。

冬期間は、積雪が2mを超える国内でも有数の豪雪地でもあります。国宝の火炎型土器が出土していることからわかるように、先人たちが縄文時代から住み続けている歴史もあります。



豪雨災害の様子

2 消防団の組織

十日町市消防団は、平成17年に市町村合併により1市3町1村の各消防団が合併して設立され、旧消防団区域を5つの方面隊として組織しました。

団本部は、消防団長1名、副団長5名、方面隊長5名と女性消防団員28名で組織され、十日町市消防団の団員数は、5方面隊、34分団、87部、172班、総勢1981人となっております。

全国的に消防団員が減少している昨今、当市消防団においても例外ではなく、過疎化、少子高齢化の影響を受けて、消防団員の確保が課題となっております。

そうしたことから、消防団の充実強化に



消防演習での放水訓練

向けた対策を検討するため、平成26年度に第3次消防団再編整備計画を策定するよう進めております。

3 消防団の活動

十日町市消防団では、防火広報や訓練を通年の事業として実施しております。春・秋の火災予防運動では、消防車両を連ねての防火広報パレードや、女性消防団員により大型店舗等の店頭で防火広報活動を行っています。春季・秋季消防演習では、各方面隊毎に計画した内容で、地域に密着した消防演習を実施しております。出初式は、5方面隊の部長以上が参加し、実施しております。

当地域では、平成16年に中越地震、平成19年には中越沖地震、平成23年には長野県北部地震、同年に新潟福島豪雨災害が発生し、7年の間に3回の震災と水害を経験しました。震災は、死者、負傷者、家屋・河川・道路等に甚大な被害をもたらしました。また、水害では中小河川が氾濫し、橋脚が流される事態となり、人身や家屋に大きな被害をもたらしました。

このような大きな災害において消防団員

は、発生直後から地域住民の避難誘導や火災発生の防御を行い、土嚢積みや地域内の巡回、危険個所の警戒など、その活動は多岐にわたり、「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という消防団の精神そのままの活動に、市民から感謝と信頼を得ることとなりました。

さらに、新潟福島豪雨の際の消防団の功績に対し、平成24年には内閣総理大臣表彰を受彰しました。

4 おわりに

当地域は、これまで幾度も大きな災害に見舞われておりますが、その度に消防団員の団結と献身的な消防団活動により、被害の拡大を防いできました。

これからも、「自分たちの地域は、自分たちで守る。」を胸に、行政や地域防災組織と連携したなかで、多くの人たちの不安を取り除き、安心・安全な住み良い地域となるよう、日々の防災教育や訓練等に取り組んでまいります。

最後になりましたが、震災時の折には全国の消防団の皆様から、多くの御支援や励ましを賜りましたことに感謝申し上げます。



新潟県総合防災訓練



シンフォニー（静岡県） 「女性団員として こどもへ伝える言葉」

静岡市消防団 清水地区本部女性部 班長
植村 菜実子

私たちの住む静岡県静岡市は温暖な気候でとても住みやすく、海あり山あり川ありの豊かな自然に囲まれた地域です。海の幸、山の幸、川の幸等たくさんの名物があり、清水港で水揚げされるマグロ、駿河湾で獲れるシラスやサクラエビは特に有名です。

また、お茶の生産も有名で、焼酎に緑茶を入れた静岡割りというものがあり、おでん街で牛すじのダシのきいた静岡おでんと静岡割りをセットで注文するのが静岡市民のありふれた飲食スタイルとなっています。

2013年6月には世界文化遺産「富士山」の構成資産に三保の松原が登録されました。万葉の昔から白砂青松と霊峰富士の眺望の素晴らしさで全国的に知られていて、あらためて富士山と一体となれる場所だと思いました。

静岡市消防団は、広大な面積の静岡市全域をカバーできるように、静岡地区本部、清水地区本部、蒲原地区本部の3地区で構成されています。



清水地区本部女性部の活動

それぞれの地区に女性部があり、現在は静岡地区本部17名、清水地区本部12名、蒲原地区本部5名が在籍しています。主な活動としては、応急手当普及員の資格取得により、他の団員への普通救命講習の指導、火災予防広報活動、消防団行事の支援を行っています。

また、分団に所属している女性団員が10名いて、訓練や分団行事に参加しています。

私は静岡市消防団に入団して9年になります。今年度は在籍した中でも一番と言ってよいほど活動したと自負しています。応急手当指導員の資格を取得し、年間を通して普通救命講習を16回実施しました。大地

震に備えて毎年実施される地震対策研修会では、男性団員に対してAEDの取り扱い法、三角巾法、搬送法等を指導しました。地元の祭典では、近隣の保育園児と一緒に手作りのまといを振ったり、防火標語を言いながら歩き、沿道のみなさんに「火の用心」を呼びかけました。

こうした活動を通して、「女性団員としてできることがたくさんある」ということを身を持って体験できましたし、「もっと女性団員を増やしていきたい」という気持ちがどんどん強くなっていきました。積極的な広報をしていき、「消防団はどんな活動をしているのか」、「女性にもできることがたくさんある」ということを知ってもらいたいと思うようになりました。特にこどもの防火意識向上に力を入れた女性団員の活動の場をさらに広げたいと思い、地元のJリーグのチーム「清水エスパルス」のサポーターを対象として、試合開催時にちらし等の配布を実施する企画に携わりました。郷土愛の強い清水エスパルスサポーターに、消防団活動を紹介し、消防団への入団促進を図るという機会です。私たち女性団員は、こどもを主なターゲットとして、消防団活動を紹介しました。

私が消防団活動を紹介するときには、必ず伝えたい言葉があります。それは、自分がこどものときに消防団員から聞いた言葉で、私が消防団員になったきっかけのひとつにもなった言葉です。私がこどもの頃、地域の防災教室で消防団員から言われたのが、「火災予防の目的は自分で考え、自らの命は自分で守る」という言葉でした。こどもには多少難しい言葉ではあるかもしれませんが、言葉だけでなく絵等のツールを

使いわかりやすく教えていただきました。

その経験を活かして、積極的にこどもに呼びかけ、「火災予防の目的は自分で考え、自らの命は自分で守る」という言葉を掛けました。難しくならないようにマスコット消防車やティッシュに描かれた絵等を使って火災予防を広報し、併せて消防団活動も紹介しました。こどもの可能性は無限で、いろいろな選択肢がある時代ですが、ひとりでも多くのこどもたちが消防団へ入団してくれることを願っています。

今後も、こどもたちが地域のために貢献していけるように、女性消防団員としての視点を持った活動をしていきたいと思っています。



静岡地区本部女性部の活動



蒲原地区本部女性部の活動

うちの

名物団員



大阪府



写真左から山本孝部長・山本亜希奈団員・山本眞奈美副分団長

団員家族表彰を受章しました。

また、平成25年10月17日（木）神奈川県横浜市で開催された第21回全国女性消防操法大会に、本市女性分団は大阪府代表で出場しました。山本分団長は指揮者、娘の山本団員は2番員、そして夫の山本部長は二人の支えとして、約9カ月間、102回の訓練を乗り越え本番に挑みました。この経験を今後の消防団活動に活かしてください。

泉大津市消防団 副分団長

山本 眞奈美

「毛布のまち」で知られる大阪府泉大津市から、女性分団の山本眞奈美副分団長をご紹介します。

山本副分団長は、市内で居酒屋を経営しており、多くのお客さんで賑わっています。家族は、夫が第1分団 山本孝部長、娘が女性分団 山本亜希奈団員の消防団員家族で、消防団120年・自治体消防65周年記念大会において、消防



左から2番目 山本眞奈美副分団長(指揮者)
左から4番目 山本亜希奈団員(2番員)

新潟県



十日町市消防団 団員

佐藤 広樹

松代方面隊の佐藤広樹さんは、消防団入団20年目でラップ隊員でもあります。

彼の職業は、地元のコミュニティFM局「エフエムとおかまち」で、地域に密着したニュースやイベントの紹介など、十日町市の情報を日々発信しているパーソナリティです。

消防団での活動にも、そのスキルを生かして、新潟県消防大会の意見発表者として、堂々とした意見発表を行いました。さらに、ポン

プ操法競技県大会では、地元出場チームの応援団長を務めてくれています。

そんな明るい気さくな性格で、十日町市消防団の広告塔として、益々の活躍が期待されています。



児玉 賢之
消防団活動の際は、66名の団員をまとめ、有事の際は団員に的確に指示を与え、先頭に立ち分団を引っ張っています。

本業は、動物園の飼育員として働いてゾウの担当をしています。地域住民の大切な財産である動物園の動物を普段守っています。これからも消防団員としても地域住民の財産を微力ではありますが守っていきたいと思っています。

御所市消防団 第5分団 分団長

団員

団員

竹川 健一

竹川 裕一

竹川 大輔

第11分団 団員

団員



竹川 みゆき 竹川 多美子

竹川健一分団長は消防団歴39年の大ベテラン。しかも長男裕一さん、次男大輔さん、長女みゆきさん、さらに長男のお嫁さんの多美子さんの家族5人が消防団員。火災や風水害の出動だけではなく、地元小学生の通学見守り、通学路の草引きや清掃作業、地域の防犯活動にも熱心に取り組んでおられます。奥さんの幸子さんは家族の安否を気遣いつつも、地域のために頑張る家族を支えてくださっています。

孫の優希君や春菜ちゃんも将来は立派な消防団員！かな？

立山町消防団 副団長

高畑 稔



高畑さんは、地元の農協を定年退職した後、町役場に嘱託職員として勤める傍ら、副団長として団長を補佐し、団員を鼓舞して活躍されています。

有害鳥獣駆除隊のリーダーとして畑を荒らす猪や人家近くに出没する熊等の駆除に出動しています。また、猟友会の会員として猟で獲った鳥獣を自ら捌き、料理の腕前も素晴らしく、その料理を楽しみにしている人も少なくありません。

高畑さんは、命の儚さ、生きることの厳しさを知る故に、住民の生命を守る消防団として、時には厳しく、時には人情味溢れる優しさで活動されています。

また、民謡などの歌い手としても素晴らしく、昼は銃声を響かせ、夜はマイクで美声を響かせています。

甲州市消防団塩山分団第一部 部員

近藤 孝丞



近藤部員は普段は真面目で無口な農協職員ですが、いざ消防となると水を得た魚のようにいきいきしています。そんな彼ですが写真左の分団長が10年のブランクを経て塩山分団に戻り、真新しい出動服に身を包み河川清掃の激励に訪れた際、分団長に向けて吐水口を開いてしまい、手荒い

歓迎をした伝説の部員です。今ではその二人も仲良く釣りに出掛けられる関係になりました。彼もこれから年下の部員の面倒をよく見て、いずれは水を掛けられる立派な消防役員に育って貰いたいと思います、今後の彼の活躍に乞うご期待！

消防団の広場

山梨県



の広場

山梨市消防団
団長

山中 親次



「地域の安心安全と楽しい消防団へ」

カップルが誕生しました。

また、昨年9月からは消防団員サポート事業を開始し、市内の飲食店や小売店、事業所などに協力をしていただき、団員証やファミリーカードを提示することで特典を受けられるなど、消防団の活性化、団員確保に向けた取り組みを行っています。

山梨市消防団では、今後も「地域の安心安全は自分たちで守る」と「楽しい消防団」を基本理念に掲げ、地域住民の負託に応えられる消防団として一致団結し、消防団活動に取り組んで行きたいと思います。

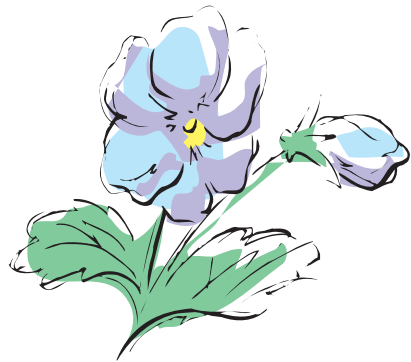
山梨市は山梨県の北東部に位置しています。北には日本百名山甲武信ヶ岳があり、それを源流とした笛吹川が流れ、西には新日本三大夜景に選ばれた笛吹川フルーツ公園があり、その眼下には日本有数の果樹地帯が広がる自然豊かな所です。

さて、山梨市消防団は平成17年3月の市町村合併に伴い、旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村の消防団が統合し、山梨市消防団として誕生しました。

山梨市消防団は、本団以下9分団55部、団員数1,039名をもって構成され、市民の安心安全のため活動しています。

主な活動としては、出初式、操法訓練大会、山林火災を想定した中継送水訓練など、地元の消防署と連携し、ご指導を仰ぎながら定期的に開催しています。

私たち山梨市消防団も各地方の消防団と同じく、団員確保が大きな課題となっています。団員の年齢も高齢化し、独身の団員も多いため、平成24年度から団員と女性との出会いのきっかけづくりのイベントとして「山梨市消防団LOVELY MEETING」を実施しています。今年度も2月11日に開催し、女性33名と団員39名が参加し12組の



平成26年度 全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

5月の日本消防協会関係行事

5月9日(金)	(午後)	監事監査(消防育英会)
5月15日(木)	(午後)	福祉共済事業等運営委員会
5月16日(金)	(午後)	監事監査(日本消防協会・全日本消防人共済会)
5月19日(月)	(午前)	消防育英会理事会
5月23日(金)	(午前)	日本消防協会役員会議(正副会長会議、理事会)

編集後記

本号から「日本消防」の編集担当が、M.KさんからT.S.(山形県より派遣)に変わりました。どうぞよろしくお願い致します。

昨年私の担当は、消防団120年・自治体消防65周年記念大会でした。あまりにも大規模な大会で、終了後は燃え尽きた感がありましたが、気を取り直して編集業務に精一杯、勤しみたいと存じます。

昨年の4月、東京に着任した際、桜は平年より9日も早い開花だったため既に葉桜の状態でしたが、今年は大都市の至る所に咲き誇る桜を、堪能することができました。

桜は日本の象徴ともいうべき花であり、全国各地でその潔い美しさを披露し、そして愛されています。桜の花ピラをかたどった徽章を有する消防団も、桜と同様に全国各地で献身的な活動を行い愛されていると思います。その消防団が、ますます愛されるよう活気あふれる活動をご紹介します。いきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(T.S)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,448円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたくと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十七巻第四号
平成二十六年四月五日印刷
平成二十六年四月十日発行

編集人 生嶋文昭
発行所 日本消防協会
東京港区虎ノ門二一九一十六
電話 〇三(303)一四八二(代)

印刷所
東京都文京区湯島三二二一十二
日本印刷株式会社
電話 〇三(303)六九七二(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

「火災共済金は1500倍補償」

B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金
※共済への加入にあたり、組合員となっていただくための出資金が別途必要となります。



共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆発・破裂

風水雪害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門2-9-16

日本消防会館6階

連絡先 TEL 03-3503-1439

FAX 03-3503-1480

E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp

URL: <http://www.shouboujin.or.jp>

消防個人年金

消防個人年金は、将来の自分の為の積立年金制度で、(公財)日本消防協会が第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。

消防個人年金を紹介します

- 1 予定利率は**1.25%**です。
- 2 **月払、半年払、月払と半年払の併用**から払い込み方法をご選択頂き、**掛金1万円**(ゆうちょ銀行は5千円)からご加入頂けます。また、まとまった資金を**一時払**することもできます。
- 3 年金は、**年4回**で受給して頂けます。
- 4 **退団・退職後も継続**できます。



そのほか詳しくは、ホームページをご覧ください。